科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 6 月 2 6 日現在

機関番号: 32689

研究種目: 新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間: 2017~2021 課題番号: 17H06337

研究課題名(和文)和解に向けた歴史家共同研究ネットワークの検証

研究課題名(英文)A Research of Historian Collaborative Research Network for Reconciliation

研究代表者

劉 傑(Liu, Jie)

早稲田大学・社会科学総合学術院・教授

研究者番号:80288018

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 32,360,000円

研究成果の概要(和文):本研究は、日中韓の「歴史家ネットワーク」と「歴史和解」との関係を構造的、機能的に解明することによって、以下2つの側面から「和解学の創成」という共同研究に寄与した。 1つは、民間と政府を背景とする多様な歴史家ネットワークの実態とその活動内容を明らかにし、これらのネットワークを比較検討した上で、歴史家ネットワークが和解に如何に貢献してきたかを解明したことである。もう一つは、歴史家ネットワークから生まれる「知のプラットフォーム」を舞台に、各国の政治、社会、学術の状況を踏まえて、和解学の基盤的分野としての「新史学」を提唱し、「新史学」を東アジアの「知の公共空間」として成立させる道筋を明示した。

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究は、3つの歴史家ネットワーク、すなわち戦後歴史家、冷戦後歴史家、越境歴史家のネットワークを検証し、 留学の経験が東アジア歴史家ネットワークの促進剤になっていること。 世代を越えた歴史家ネットワークが成立していること。 対話や共同研究の成果が地域内で共有され、社会にも影響を与えていること。 史料館がハブとしての機能を果たし、それを媒体に多様なネットワークが形成されていることなどを明らかにした。併せて、歴史上の和解の試みも実証的に検証した。和解の歴史と、歴史研究のあり方、歴史家ネットワークの機能を究明したことは、新学問領域としての和解学の形成と、東アジア域内の歴史和解に貢献するものである。

研究成果の概要(英文): This study, by structurally and functionally elucidating the relationship between the "historians' network" and "historical reconciliation" in Japan, China, and South Korea, contributes to the collaborative research of "the creation of reconciliation studies" in terms of two aspects. First, this study clarifies the reality and activities of diverse historians' networks with backgrounds in civil society and government, and based on the comparative study of these networks, it reveals how historians' networks contribute to reconciliation. Second, based on the political, social, and academic situations of each country on the stage of "knowledge platform" generated by historians' networks, it proposes the "new historiography" as a foundational field of reconciliation studies and demonstrates the path to establish the "new historiography" as an "intellectual public space" in East Asia.

研究分野: 歴史学

キーワード: 和解学 新史学 歴史家 ネットワーク 知のプラットフォーム

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

本研究は、新学術領域研究「和解学の創成 正義ある和解を求めて」の一部として、日中 韓及び台湾の歴史家の間で形成されたネットワークに対する検証を通して、歴史和解と和 解学に貢献する歴史学のあり方を探求することを目的としてスタートしたものである。

戦争と植民地支配という歴史の「負の遺産」を克服し、和解を実現することは、東アジア未完成の課題である。講和条約や共同声明によって政治的次元での和解は一度達成されたが、国民レベルでの和解プロセスは、戦後 70 数年経っても迷走し続けている。この地域では、領土・貿易・文化などで国家間の摩擦が発生すると、外交問題が歴史問題化され、「歴史認識問題」が雪だるま式に膨らみ、国民レベルでの和解を一層難しくする。政治的次元での和解が国民レベルでの和解に結びつかない理由の1つに、歴史家(知識人)が歴史和解に必要な「知」と、外交問題と歴史問題を切り離す「方法論」を十分に社会に貢献してこなかったことが指摘される。

このような現状を踏まえて、「和解に向けた歴史家共同研究ネットワークの検証」の研究チームが強く意識したことは、和解に寄与する新しい形の歴史学(新史学)は、和解に不可欠な学知であり、この学知は「和解学」を成立させる前提条件である、ということである。既存の歴史家ネットワークの機能を検証し、和解学の成立と、和解を実現するための「新史学」を提唱することを本研究の主な目的とした。研究代表者の劉傑は、『国境を越える歴史認識:日中対話の試み』(東京大学出版会、2006年)を皮切りに、東アジアの歴史家対話と交流をかさね、歴史家ネットワークを活用して共同研究を展開してきた。『1945年の歴史認識』(東京大学出版会、2009年)『対立と共存の歴史認識』(東京大学出版会、2013年)も一連の共同研究の成果である。これらの研究成果を踏まえて、新史学の探究がはじめられたのである。

2.研究の目的

前述の通り、本研究の目的は東アジアの歴史和解を実現し、学問としての「和解学」に貢献するために、「和解」の歴史に新たな光を当て、歴史家ネットワークの機能を検証し、和解と和解学に貢献する歴史学(「新史学」)を追求することである。このようなことを目的に設定したのは、以下の理由による。

戦争や植民地支配終了後の歴史和解には三つの局面が考えられる。第一の局面は国家の 戦略的思考から達成される政府間和解である。この時の戦略的和解が第2の局面、「国民レ ベルの和解」を引き起こしたが、日中間の「歴史認識」問題はその後も歴史和解にプレーキ をかけ続けた。政府間和解と国民レベルでの和解が動揺したのは、「知的和解」という和解 の第3の局面が現れなかったからである。国民レベルでの和解を持続させる条件は、「歴史」 の共有と「歴史認識」をめぐる相互理解である。しかし、日中両国は短期的な戦略的要請と、 国民に広がった日中友好を優先課題とし、関係の安定化に不可欠な「共有知」の構築を怠っ たのである。本研究チームは、「知的和解」に不可欠な「史実」に対する客観的な研究と、 そのような研究に不可欠な歴史家ネットワークの検証、そしてこのネットワーク上に形成 される「歴史知」のプラットフォームをベースに、共有できる「新史学」を共創することを 目的にした。

3.研究の方法

本研究は、上述三つの研究目的へのアプローチとして、歴史のなかの対立と和解をめぐ

る考察、 和解に貢献する歴史家の研究活動、交流活動及びそのネットワークの考察、 歴 史和解と「和解学」に貢献する「新史学」をめぐる考察を行った。

歴史のなかの対立と和解をめぐる考察

東アジアの近代史のなかで、対立と和解が繰り返されてきた。対立と和解の近代史を検証することは、今日の歴史和解と「和解学」の成立にとって貴重な参考を提供することはいうまでもない。歴史的考察を担当したグループは、和解対象国ないしは友好継続国の、内的論理に注目した。和解に至る、もしくは続けるためのプロセスを「縦軸」に設定し、なぜ和解が困難な国と、比較的容易な国があるのかを探った。一方、考察の「横軸」を外交、政治、軍事面に限らず、文化、経済、人的交流の面にも拡大して、縦軸と横軸の共鳴から新たな和解の地平が生まれることを提案した。

和解に貢献する歴史家の研究活動、交流活動及びそのネットワークの考察

本研究チームは、日本、中国、台湾、韓国の歴史学者に対するインタビューを実施し、彼らが研究活動と交流活動のなかで構築した研究者ネットワークの実態と機能を検証した。インタビューした主な海外の研究者は、中国人 4 人、台湾人 5 人、韓国人 2 人であり、彼らから貴重な情報を入手することができ、これらの情報に基づいて、「知的和解」における歴史家の役割を考察した。また、人物の交流史を通して、ネットワークの機能と効果を検証した。

歴史和解と「和解学」に貢献する「新史学」をめぐる考察

「和解学」は歴史問題が足枷となって歴史和解を妨げているメカニズムを解明し、未来に向けての和解の方法論を提示する学問である。このような定義から分かるように、「和解学」は、哲学、心理学、歴史学、政治学、社会学、経済学など、従来のさまざまな学問領域に依存する学際的な学問である。そのなかでも、「和解学」が対象とする事柄(対立)の誘因は「歴史」そのものであるため、歴史学は「和解学」と不可分な関係にある。「和解学」に対する歴史学の貢献は、歴史学の方法論に基づく歴史の研究以外に、「歴史」を政治から歴史学の領域内に取り戻し、マネージメント(研究)することも重要である。歴史の研究法、歴史と政治の分離法、歴史家共同体の構築法の三つの方法論が「和解学」に貢献する歴史学の課題である。この三つの方法論を探究する過程こそ、歴史学が他の学問分野とともに「和解学」に貢献する過程である。このような和解学に貢献する歴史学のことを「新史学」と定義し、この「新史学」に対する総合的研究は本研究チームの一貫した課題であった。

4. 研究成果

本研究の成果として、12 名の内外の「歴史研究者インタビュー記録集」を編集したほか、 浅野豊美編『和解学叢書 1、和解学の試みーー記憶、感情、価値』、劉傑編『和解学叢書 5、 和解のための新たな歴史学 方法と構想』を公刊した。ここでは「和解学叢書」に即して 研究成果を報告するが、その他の研究成果は、業績リストを参照されたい。

劉傑「和解学に貢献する新たな歴史学を目指して」

研究代表の劉傑は、分担者との共同研究のなかで、和解学に貢献する歴史学のことを「新史学」と定義し、その新史学の具体像と創出の方法を提案した。この新史学は、国家間、国民間の和解を模索する「和解学」に三つの方法論を提供するものである。すなわち、新しい歴史の研究法、歴史と政治の分離法、歴史家共同体の構築法である。

新しい歴史学は、 歴史資料のデジタル化とインターネットを介した資料公開の拡大に随伴して発生した歴史学の大衆化に対応する歴史学、 客観的な資料に主観的な感情記憶が

加わった歴史学、 グローバル・ヒストリーの有効性を認めた歴史学である。劉傑は、今日 の歴史学は、「大衆化」「多様化」「グローバル化」という時代の激変に遭遇している。これ らの変化に対応する歴史学でなければ、「和解学」に貢献できない。また、歴史学自体の生命力の衰退をもたらすと指摘した。

澁谷由里「中国前近代史にみる和解と融合」

中国が他国や近隣地域に対して、何らかの不戦や和解を実施したい場合、朝貢冊封・羈縻・ 盟約のいずれか、またはその組み合わせや進化形で対処してきたことを、二千年強の歴史の 中から具体的事例をあげて検討した。前近代の中国では上下関係が基準になっているもの の、各王朝が武力ではかなわない、もしくは平和共存したいと思った相手には、譲歩や配慮 をしてきたことを明らかにしている。

城山英已「天皇訪中と『和解』の限界 封じ込められた反日感情 」

一九九二年における天皇初訪中「成功」の内実に、日中両国の関係者へのインタビューを通じて迫っている。民間人の反日感情を和らげたとして高く評価される裏側に、日中間の緊迫した外交上の駆け引きと、それを通じての日本側の、「賭け」にも近い中国側への信頼があり、また中国特有の民衆統制が、訪問中の抗議活動などを防止できたことを明らかにしている。

タンシンマンコン・パッタジット「『妥協』の産物としての『和解』 タイ中関係・タイ日関係を事例として一」

日中だけでは硬直しがちな、アジアにおける和解のケーススタディとして、タイを間においた点で注目に値する。タイは日中両国との間にトラウマとなる「負の歴史的遺産」があまりなく、また両国が 97 年のアジア金融危機においてタイに援助を惜しまなかったことを、タイは両国への好感材料にしていると指摘し、また両国との良好な関係が、「蓮が傷まなければ水も濁らない」とのことわざに象徴される、タイの柔軟な外交文化に根差していることを明らかにしている。

野口真広「歴史教育政策に関する日本と台湾との比較」

日本と台湾の歴史教育の比較を通じて、日本の歴史教育に存在した問題点を指摘した。日本の学習指導要領に対する歴史家の批判を手がかりに戦後以来の変遷を考察し、教化性、物語性、民族への愛情などが相次いで学習指導要領に取り入れられ、国史的史観が次第に強化されていく過程を確認した。

鄭成「心の和解における中国の歴史家の役割」

現代中国社会のロシア認識の形成における中国人歴史家の役割を考察した。固定化された現代中国のロシア像は、中国国民のロシア理解を妨げ、国民同士の心の和解を妨害していると指摘した。中国人歴史家の研究と論説を考察し、中国人のロシア像が形成した要因を究明した。

段瑞聡「『蔣介石日記と民国史研究者ネットワークの検証』

2006 年にアメリカ・スタンフォード大学フーバー研究所で公開された「蔣介石日記」を手がかりに、日本、中国と台湾の中国近現代史研究者が形成された研究ネットワークとその研究成果について考察した。蔣介石研究の変化が日本、中国及び台湾の歴史家のネットワーク形成を促進していることを確認した。

馬暁華「グローバル化時代における和解構築の課題と挑戦」

日中両国の博物館の戦争展示を事例として、和解を実現するための課題を検討した。

中国の「中国人民抗日戦争記念館」や「侵華日軍南京大屠殺遇難同胞記念館」と日本の「広島平和記念資料館」、「長崎原爆資料館」、「沖縄県平和祈念資料館」などと比較し、戦争に関する「オフィシャルな記憶」の形成の問題点を明らかにした。

木宮正史「日韓歴史和解をめぐる政治学:歴史葛藤の抑制メカニズムとその機能不全」

日韓歴史問題の抑制メカニズムとその機能について冷戦期とポスト・冷戦期に分けて分析した。また、政治指導者の個性は、歴史摩擦を抑制するための一つの条件として実証的に明らかにした。

前嶋和弘「奴隷制というアメリカの『原罪』をめぐる和解の難しさ」

アメリカの人種問題から和解にアプローチした研究である。本研究は『ニューヨーク・タイムズ』の主導下で進められている「1619 プロジェクト」および奴隷制をめぐる連邦議会や民間などでの謝罪や補償の動きなどについて論じ、人種問題をめぐる和解の難しさを浮き彫りにしている。

本研究チームは若手研究者の育成にも力を入れた。研究成果を取りまとめるにあたって、若手研究者の成果も積極的に取り入れた。以下その概要を報告する。

桑原太朗「日中の『対支文化事業』言説からみる『和解』の可能性と限界 日中『共同』事 業模索をめぐってー」

本成果は、一九二〇年代の日本が、中国への文化的貢献をうたいながら政治・外交色を払 拭できず、中国側の不信を招くプロセスを跡付け、政治・外交から距離を保って日中共同の 文化事業を行う難しさを検討した。今後の学術共同研究や文化交流に対して、日中双方が利 益を享受できる事業ならば成功する可能性を指摘し、示唆に富む。

矢野真太郎「日中『経済提携』と和解 一九三〇年代における関係改善の模索 」

一九三〇年代の経済提携案が破綻する原因を探りつつ、両国の今後の密接な経済関係が和解に貢献できるか、という野心的な問いを立てている。一見効率の悪い長期的対話の継続とそれによる相互理解の蓄積、また自国を優位において相手国を見下し、その自立や発展を無視して関係を固定しようとする危険性についての指摘は、日中間、あるいは経済関係に限らない普遍性を持っている問題である。

黄斌「李大釗と日中間の知識人ネットワーク」

中国共産党の創始者として知られる李大釗の日本留学及び日本人知識人との知的交流を考察している。主に河上肇を通じてのマルクス主義受容と吉野作造との交流を取り上げている。李大釗を中心とする日中間の知識人の対話が成功しなかった理由について、対話の不均衡が指摘されている。

駱豐「日中歴史家ネットワークの端緒」

本成果は、戦後の日中間の歴史家の相互交流を考察した内容である。考察の対象は、一九 五五年と一九六三年に行われた中国学術代表団による二回の訪日及び一九六四年の日本研 究者による北京科学シンポジウムへの参加である。これは国交がなかった時代における日 中両国歴史家同士の貴重な交流となった。本成果は、時代の制限を受けた歴史家同士の交流 の実態を明らかにしている。

以上の成果のほか、本研究の分担者は「東アジア歴史紛争和解事典」を分担して執筆し続けており、和解学の基礎的環境の整備と成果の公開に貢献した。

以上。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計71件(うち査読付論文 9件/うち国際共著 7件/うちオープンアクセス 17件)

1.著者名 森川裕二	4.巻 11
2.論文標題 東アジアの連帯に向けた研究回路の構築ー周縁的アプローチとしての間主観的秩序	5 . 発行年 2022年
3.雑誌名 21世紀東アジア社会学	6.最初と最後の頁 21-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 木宮正史	4 .巻 202
2 . 論文標題 構造変容に直面し『迷走』する日韓関係 何を目指し、どのように克服するか	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 政策オピニオン(平和政策研究所)	6.最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
4 *************************************	4 7/-
1 . 著者名 木宮正史(KIMIYA Tadashi)	4.巻 ²
2 . 論文標題 The Structural Transformation of South Korea-Japan Relations amid the North Korean Nuclear Crisis and U.SChina Confrontation	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 KOREA INSIDE OUT(Seoul National University, Institute of International Affairs)	6 . 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
1.著者名 木宮正史	4.巻 1-38
2.論文標題 日本の岸田政権出帆以後韓日関係の展望(韓国語)	r
	5 . 発行年 2021年
3.雑誌名 Asia Brief Current Issues and Policy Implications (Seoul National University Asia Center.)	
******	2021年

1 . 著者名 木宮正史	
木宮正史	4 . 巻
	198
2 . 論文標題	5.発行年
尹大統領誕生が示す日韓関係改善の糸口	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊公明	36-41
7,11,243	00 11
日本(A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-A-	<u> </u>
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
オープンデッセスとはなり、大はオープンデッセスが四無	
1.著者名	4 . 巻
KIMIYA Tadashi	27
Nim III Tadadii	
A AA LIEDT	= 7V./= h=
2 . 論文標題	5 . 発行年
The Political Dynamism of South Korea-Japan Relations and Its Potentialities for Academic	2022年
Collaboration	
	て 見知に見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
TRENDS IN THE SCIENCES	19-22
	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
なし こうしゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅ しゅうしゅ しゅうしゅ	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1
4	A Y'
1 . 著者名	4 . 巻
木宮正史	2023-3
2.論文標題	5.発行年
	2023年
韓日関係の対称性と相互協力方案	1 /11/15
	2020—
	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 JPI Peace Net(済州平和研究院)	6 . 最初と最後の頁 1-10
3.雑誌名 JPI Peace Net(済州平和研究院)	6.最初と最後の頁
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院)	6 . 最初と最後の頁 1-10
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無
3 . 雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 93
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 前嶋和弘	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 93
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 前嶋和弘 2.論文標題	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 93
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 前嶋和弘	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 93
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 前嶋和弘 2.論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 4.巻 93 5.発行年 2023年
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 前嶋和弘 2.論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 93
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 前嶋和弘 2.論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 4.巻 93 5.発行年 2023年
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 前嶋和弘 2.論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 4.巻 93 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 前嶋和弘 2.論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟 3.雑誌名	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 4.巻 93 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名前嶋和弘 2.論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟 3.雑誌名 国際情勢紀要	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 57-66
3 . 雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 前嶋和弘 2 . 論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟 3 . 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 4.巻 93 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 57-66
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名前嶋和弘 2.論文標題パイデン政権の対中政策と日米同盟 パイデン政権の対中政策と日米同盟 3.雑誌名国際情勢紀要 国際情勢紀要	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 93 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 57-66
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名前嶋和弘 (1. 本本の利益 2.論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 4.巻 93 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 57-66
3 . 雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 前嶋和弘 2 . 論文標題 バイデン政権の対中政策と日米同盟 3 . 雑誌名 国際情勢紀要	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 4.巻 93 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 57-66
3.雑誌名 JPI Peace Net (済州平和研究院) 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名前嶋和弘 (1. 下ジン政権の対中政策と日米同盟 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 1-10 査読の有無 無 国際共著 4.巻 93 5.発行年 2023年 6.最初と最後の頁 57-66

1.著者名	4.巻
前嶋和弘	23(3)
2 . 論文標題	5.発行年
状況変化に対応する「次世代型の日米同盟」へ	2023年
WW STOCKED SO WELLENDY SO WELL	2020—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
** **- * *	
リベラルタイム	22-23
In settled 1 and 2 1 1 1 1 Asherian .	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
前嶋和弘	100(7)
日川明寺イドコム	100(1)
2	F 36%- 7-
2 . 論文標題	5.発行年
米国の落日:「ベトナム戦争以上」の失策、抜け出したかった「底なし沼」	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
エコノミスト	78-80
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
40	////
+ = 1,74+7	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
劉傑	2022 - 2
2 . 論文標題	5.発行年
近代中国の対外関係と東アジア	2022年
210十日の利用制度に入ります。	2022—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
	46 - 61
近代東アジアの安全保障環境	46 - 61
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	2022 - 3
利 拉	2022 - 3
2	F 36/- 7-
2. 論文標題	5 . 発行年
東亜地域の歴史和解問題--中日関係を中心に	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
『日本研究』(遼寧大学)	24 - 42
· · · · · · · · · · · · ·	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
' d. ∪	
ナープンファトフ	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名	4 . 巻
鄭成	73
2 . 論文標題	5.発行年
·····	
中国建国初期の小中学校における思想政治教育 トレーニングとしての愛国主義教育	2022年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
東京大学社会科学研究所『社会科学研究』	81-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	☆読の有無
10.34607/jssiss.73.1 81	無
, -	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
	4 . 巻
鄭成	43
料が	10
2.論文標題	5 . 発行年
中国建国初期の芸術家の思想統制への順応に関する一考察の映画人蔡楚生を中心に	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
早稲田大学アジア太平洋研究センター『アジア太平洋討究』	103 -121
十個四八子グラグスト/ナルバルピング・・グラグスト/ナロコルリ	100 - 121
4月 #¥*Δ +	* * * · · · · · · · · · · · · · · · · ·
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.57278/wiapstokyu.43.0_103	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
<u>澁谷由里</u>	1003
2.論文標題	5.発行年
書評及川琢英『帝国日本の大陸政策と満洲国軍』	2020年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
歷史学研究	63-64
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無

オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
鄭成	4 · 공 40
天 ^ル ルズ	10
2.論文標題	5.発行年
建国初期における青年知識人の社会主義への思想転向	2020年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
早稲田大学アジア太平洋研究センター『アジア太平洋討究』	79-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.57278/wiapstokyu.40.0_79	無
オープンアクセス	国際共革
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著
オーノノアフ と人としている (また、ていりたとめる)	-

1 . 著者名 木宮正史 4 . 巻 25(9) 2 . 論文標題 日韓の葛藤とその構造的要因: 学術協力の役割は何か 5 . 発行年 2020年 3 . 雑誌名 学術の動向 6 . 最初と最後の頁 22-25	
木宮正史25(9)2 . 論文標題 日韓の葛藤とその構造的要因: 学術協力の役割は何か5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	
2 . 論文標題 5 . 発行年 日韓の葛藤とその構造的要因: 学術協力の役割は何か 2020年 3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	
日韓の葛藤とその構造的要因: 学術協力の役割は何か 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
日韓の葛藤とその構造的要因: 学術協力の役割は何か 2020年 3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	
3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	
学術の動向 22-25	
デードリン主 がら	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
10.5363/tits.25.9_22 無	
オープンアクセス	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	
カープンチッピスとはない、又はカープンチッピスが四無 -	
1 . 著者名 4	
木宮正史 20	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
特別リポート 日韓関係改善への道筋 2020年	
3 . 雑誌名 6 . 最初と最後の頁	
ブリタニカ国際年鑑2020年版 114-116	
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無	
なし 無	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1 \$20	
1 . 著者名 4 . 巻	
タンシンマンコン・パッタジット 58(1)	
つ 	
2 . 論文標題 5 . 発行年	
タノーム政権期におけるタイの対中認識と政策の変化 「敵対」と「和解」の論理を中心に 2020年	
2 Http://www.	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
東南アジア研究 3-32	
0 02	
担影会立のDOL/ごぶん!! ナブバーカー端回フト	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
拘載論文のDOT(デジタルオプシェクト識別子)	
なし 無	
なし 無	
なし 無 オープンアクセス 国際共著	
なし 無	
なし 無 オープンアクセス 国際共著	
なし 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	
なし 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1.著者名 4.巻	
なし 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) -	
# また	
# は また は ま	
なし 無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 タンシンマンコン・パッタジット 2.論文標題 5.発行年	
# は、	
なし 無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 タンシンマンコン・パッタジット 4.巻 2.論文標題 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 - 5.発行年 2020年	
# また	
なし無オープンアクセス国際共著オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1.著者名 タンシンマンコン・パッタジット4.巻 42.論文標題 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 -5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁	
なし 無 オープンアクセス 国際共著 1.著者名 タンシンマンコン・パッタジット 4.巻 2.論文標題 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 - 5.発行年 2020年	
なし無オープンアクセス国際共著オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1 . 著者名 タンシンマンコン・パッタジット4 . 巻 42 . 論文標題 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 -5 . 発行年 2020年3 . 雑誌名6 . 最初と最後の頁	
なし無オープンアクセス国際共著オープンアクセスとしている(また、その予定である)-1.著者名 タンシンマンコン・パッタジット4.巻 42.論文標題 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 -5.発行年 2020年3.雑誌名6.最初と最後の頁	
# 大一プンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
# また	
# カープンアクセス 国際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 タンシンマンコン・パッタジット 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 - 2020年 1 . 21 . 21	
# 日際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 日際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) - 1 . 著者名 タンシンマンコン・パッタジット 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 5 . 発行年 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 - 2020年 6 . 最初と最後の頁 次世代論集 6 . 最初と最後の頁 1-21 香読の有無	
# 日際共著 オープンアクセス 国際共著 1 . 著者名 タンシンマンコン・パッタジット 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 5 . 発行年 2020年 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 - 2020年 1-21 日報論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし 産誌の有無 無	
# 日際共著 オープンアクセスとしている(また、その予定である) 日際共著 - 1 . 著者名 タンシンマンコン・パッタジット 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 4 . 巻 5 . 発行年 1980年代のタイにおける中国認識の転換 - カンボジア紛争とその影響 - 2020年 3 . 雑誌名 次世代論集 6 . 最初と最後の頁 1-21 日戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無 # # オープンアクセス 国際共著	
# は	

│1.著者名	4 . 巻
劉 侠	25(9)
السالس	(-)
0 AA-LIEUT	= 7V./= /=
2.論文標題	5.発行年
│ 中国の「一帯一路」政策とアジアの「知の共同体」	2020年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
学術の動向	9_18-9_21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5363/tits.25.9_18	無
10.3303/1113.23.5_10	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
	_
段瑞聡	116
2.論文標題	5.発行年
戦後日本対二戦期間外交軍事的反省述評	2020年
	2020-
2 1851-57	- 日かり目後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
抗日戦争研究	58 - 67
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
The second contraction of the second of the	
4 \$2.67	1 A 44
1 . 著者名	4.巻
劉傑	1 - 2
2 . 論文標題	5 . 発行年
中日関係の演変と第2次日中和解	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
韓国成均館大学《中国社会科学論叢》	137-153
相乗込みでのDOL / デンタリナイン・カー Man ファ	本芸の左征
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
コーファットにはない、人はコーフファットの対理	<u>-</u>
1.著者名	4.巻
劉傑	1
2.論文標題	5.発行年
和解に向けた歴史家ネットワークのために	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Toward the future of Asia : My proposal アジアの未来へ 私の提案	25-27
iowaid the idture of Asia . Wy proposal アンアの木木へ 位の提条	20-21
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
 	,
ナーゴンフクセフ	日欧井荽
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	
	4.巻
劉傑	93号
2 . 論文標題	5.発行年
中国研究の新視座	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
現代中国 = Modern China : 研究年報	70-72
現代中国 - Wodern Girlia . W元午報	10-12
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
· · · · · = · ·	自然八百
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
劉傑	5
四	Ĭ
0 +0-1707	F 78./= /T
2 . 論文標題	5.発行年
新アジア学・日本学の創成	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
多文化社会研究	281 - 285
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4U	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u> </u>
1 . 著者名	4 . 巻
鄭成	37
2.論文標題	5.発行年
	5 . 発行年
2. 論文標題 中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに	5 . 発行年 2019年
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに	2019年
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名	
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに	2019年
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名	2019年 6 . 最初と最後の頁
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究	2019年 6 . 最初と最後の頁 165 - 179
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6 . 最初と最後の頁 165 - 179 査読の有無
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究	2019年 6 . 最初と最後の頁 165 - 179
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2019年 6 . 最初と最後の頁 165 - 179 査読の有無
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6 . 最初と最後の頁 165 - 179 査読の有無
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2019年 6 . 最初と最後の頁 165 - 179 査読の有無 無
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6 . 最初と最後の頁 165 - 179 査読の有無 無
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3 . 雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3 . 雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3 . 雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3 . 雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 澁谷由里	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 澁谷由里 2.論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心に一	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 澁谷由里 2.論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心に一	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 澁谷由里 2.論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心に一 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 澁谷由里 2.論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心に一	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 澁谷由里 2.論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心に一 3.雑誌名	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3 . 雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 澁谷由里 2 . 論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心に一 3 . 雑誌名 東洋史研究	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 104-123
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3 . 雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 澁谷由里 2 . 論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心に一 3 . 雑誌名 東洋史研究	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3.雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 104-123
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3 . 雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 澁谷由里 2 . 論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心に一 3 . 雑誌名 東洋史研究	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 104-123
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3 . 雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 澁谷由里 2 . 論文標題 孫文と張作霖 民国再統一に向けての提携を中心に一 3 . 雑誌名 東洋史研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 104-123 査読の有無 無
中国の愛国主義教育の有効性への歴史的考察 1956年の上海鉄道局主催の夏令営を手がかりに 3 . 雑誌名 アジア太平洋討究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	2019年 6.最初と最後の頁 165-179 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 78 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 104-123

. ##.6	
1 . 著者名	4.巻
タンシンマンコン・パッタジット	25
2 . 論文標題	5.発行年
タイの2つの「10月事件」期における中国認識-右派と左派の綱引	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ソシオサイエンス	84-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
木宮正史	3
2.論文標題	5.発行年
日本から見た2019年朝鮮半島と北朝鮮問題(韓国語)	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Korea Report POSTEC Peace Institute	26-27
担撃公立のスペーノーデックル・オープット・カート かいりつ ン	本柱の左便
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 国际六百
1 . 著者名	4.巻
野口真広	21
2.論文標題	5.発行年
台湾留学生による政治・社会的なネットワーク形成に関する試論	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
ワセダアジアレビュー	87-91
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無

オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
前嶋 和弘	22
2.論文標題	5.発行年
トランプ政権の移民政策:ヒスパニック系移民に対する対応を中心として	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
ワセダ アジアレビュー	70-75
	* t+ o + fm
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない。 又はオープンアクセスが困難	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

1. 著者名	4.巻
前嶋 和弘	706
2.論文標題	5.発行年
2. 調文標題 トランプ政権の対中政策:分断する米中経済とその行方	2019年
トラフノ政権の対中政策、方例9 8本中経済とての11万	2019#
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
世界経済評論	6-14
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
+ +×-7++-7	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
1.李恩民	9
1. 1 / 15/15	ľ
2 . 論文標題	5.発行年
東南アジアにおける中国の対外援助:現場からの報告	2019年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国際学研究	1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
拘載論又のDOT(デンタルイプシェクト部別士) なし	直読の有無
4 0	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4.巻
劉傑	-
2.論文標題	5.発行年
和解に向けた歴史家ネットワークのために	2019年
2 ht÷t <7	て 目知に目後の百
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Toward the future of Asia : My proposal アジアの未来へ 私の提案	2019
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 *******] <u>, </u>
1.著者名	4 . 巻
馬立誠×栄剣×劉傑×川島 真	132巻11号
2.論文標題	5.発行年
2 ・ 調又信題 「 戦略的な和解 」 から「 国民主導の和解 」 へ	2018年
サスサロロコルクイルサザ」 パコ 一国に工会の作用」、ノ	20104
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
中央公論	118-129
	1.13.12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
ナーナンフトトラ	5 W + *
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する

1.著者名	4 . 巻
劉傑	-
2	F 384-17
2.論文標題	5 . 発行年
「大国化」する中国をどう捉えるのかー日本の中国研究を考える	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
中国の大国化とアジアー学際的検討	1-3
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
 オープンアクセス	国際共著
カープンテッセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际共有 該当する
オープンアプセス こはない、 又はオープンアプセスが凶難	談当りる
1. 著者名	4.巻
劉傑	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
蒙古襲来と13世紀モンゴル帝国のグローバル化(総合討論)	2018年
2、雄士夕	6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 「日本・中国・韓国 国史対話の可能性」	6. 取例と取後の貝 142-167
一个一个四个转回 国文对前的可能注:	142-107
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
段瑞聡	12
주ス구III 개인	
2 . 論文標題	5.発行年
戦後初期国民政府の対日講和構想 3つの講和条約草案を手がかりに	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
中国研究	1-31
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	有
なし	有 ————————————————————————————————————
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	有 国際共著 - 4.巻
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡	有 国際共著 - 4.巻 7
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 7 5.発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡	有 国際共著 - 4.巻 7
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡 2 . 論文標題	有 国際共著 - 4.巻 7 5.発行年
なし オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡 2 . 論文標題 中国国民党・国民政府史研究の現状と課題 3 . 雑誌名	有 国際共著 - 4.巻 7 5.発行年 2018年
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡 2 . 論文標題 中国国民党・国民政府史研究の現状と課題	有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス 1 . 著者名 段瑞聡 2 . 論文標題 中国国民党・国民政府史研究の現状と課題 3 . 雑誌名 研究中国	有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-42
なし オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡 2 . 論文標題 中国国民党・国民政府史研究の現状と課題 3 . 雑誌名 研究中国 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-42 査読の有無
なし オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡 2 . 論文標題 中国国民党・国民政府史研究の現状と課題 3 . 雑誌名 研究中国	有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-42
なし オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡 2 . 論文標題 中国国民党・国民政府史研究の現状と課題 3 . 雑誌名 研究中国 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-42 査読の有無
なし オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 段瑞聡 2 . 論文標題 中国国民党・国民政府史研究の現状と課題 3 . 雑誌名 研究中国 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	有 国際共著 - 4 . 巻 7 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 36-42 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
段瑞聡	109
1 2-10-10	
2	F 整仁左
2.論文標題	5.発行年
戦後初期国民政府対日外交初探:以1948年張群訪日為線索	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
抗日戦争研究	104-119
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
	i i i
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
前嶋和弘	-
2.論文標題	5 . 発行年
3年目を迎えたトランプ政権の外交・安全保障	2019年
って日でたれた! ノノノ以TEW/バス・メエ 体障	2013-
- ANA 61	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
インテリジェンス・レポート	17-26
「根⇒☆☆のDOL / ニングクリナインデークト ☆叫フヽ	本性の左征
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
っ フファッピへいはない、人はカーフファッピ人が凶難	<u> </u>
	T . w
│ 1 .著者名	1 4 **
1.看有有	4 . 巻
—	4. 巻
前嶋和弘	
前嶋和弘	-
前嶋和弘 2.論文標題	5 . 発行年
前嶋和弘	-
前嶋和弘 2 . 論文標題	5 . 発行年
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後	- 5.発行年 2019年
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後	- 5.発行年 2019年
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁
前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 105-113 査読の有無
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有
 前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス 	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 105-113 査読の有無
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有
 前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス 	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著
 前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	- 5.発行年 2019年 6.最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著
 前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 13
 前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 13
 前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 13
 前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 13
 前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2018年
前嶋和弘2.論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後3.雑誌名 国際情勢紀要掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 前嶋和弘2.論文標題 アメリカの政治的分極化3.雑誌名	
 前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策:2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2018年
前嶋和弘2.論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後3.雑誌名 国際情勢紀要掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 前嶋和弘2.論文標題 アメリカの政治的分極化3.雑誌名	
前嶋和弘2.論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後3.雑誌名 国際情勢紀要掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なしオープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難1.著者名 前嶋和弘2.論文標題 アメリカの政治的分極化3.雑誌名	
前嶋和弘 2. 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3. 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 前嶋和弘 2. 論文標題 アメリカの政治的分極化 3. 雑誌名 国際行動学研究	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-11
前嶋和弘 2. 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3. 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 前嶋和弘 2. 論文標題 アメリカの政治的分極化 3. 雑誌名 国際行動学研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113
前嶋和弘 2. 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3. 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 前嶋和弘 2. 論文標題 アメリカの政治的分極化 3. 雑誌名 国際行動学研究	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 13 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 1-11
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 前嶋和弘 2 . 論文標題 アメリカの政治的分極化 3 . 雑誌名 国際行動学研究 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113
前嶋和弘 2.論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3.雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 前嶋和弘 2.論文標題 アメリカの政治的分極化 3.雑誌名 国際行動学研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113
前嶋和弘 2 . 論文標題 トランプ政権の対中政策: 2017-2018、そして今後 3 . 雑誌名 国際情勢紀要 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 前嶋和弘 2 . 論文標題 アメリカの政治的分極化 3 . 雑誌名 国際行動学研究 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし	- 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 105-113

│ 1 . 著者名	4.巻
前嶋和弘	48
2 . 論文標題	5 . 発行年
アメリカ大統領とアメリカ	2018年
プクリス (利用) (現在) アッカ	2010-
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The English journal	10-13
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	本柱の左位
	査読の有無
なし なし	無
	CO Chr. 11 +++
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
木宮正史	47
	5.発行年
中国をめぐる日韓関係:韓国、朝鮮半島から見た日本の対中認識、政策(韓国語)	2018年
一直にく 、9日4年15105・44日、 ままず一旦は しょうこれをくさ 「最早、 大久(本田日)	2010—
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本研究論叢(韓国語)	
口平则九呭取(拜巴市)	141 - 169
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木芸の左無
	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1.著者名	4 . 巻
1 . 著者名 - 木宮正史	4.巻 613
	_
	_
2.論文標題	613
木宮正史	613
木宮正史 2 . 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性	613 5.発行年 2018年
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名	613 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
木宮正史 2 . 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性	613 5.発行年 2018年
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名	613 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
木宮正史 2 . 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3 . 雑誌名 東亜	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27
木宮正史 2 . 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3 . 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無
木宮正史 2 . 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3 . 雑誌名 東亜	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無
* 木宮正史 2 . 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3 . 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著
木宮正史 2. 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3. 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 木宮正史	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季
木宮正史 2. 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3. 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 木宮正史	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 木宮正史 2.論文標題 韓日間の歴史和解はなぜ必要か:韓日間の戦略選択をめぐって(韓国語)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 木宮正史 2.論文標題	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季
** 木宮正史 2 . 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3 . 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 木宮正史 2 . 論文標題 韓日間の歴史和解はなぜ必要か:韓日間の戦略選択をめぐって(韓国語) 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 木宮正史 2.論文標題 韓日間の歴史和解はなぜ必要か:韓日間の戦略選択をめぐって(韓国語)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
** 木宮正史 2 . 論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3 . 雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 木宮正史 2 . 論文標題 韓日間の歴史和解はなぜ必要か:韓日間の戦略選択をめぐって(韓国語) 3 . 雑誌名	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
**	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-64
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 木宮正史 2.論文標題 韓日間の歴史和解はなぜ必要か:韓日間の戦略選択をめぐって(韓国語) 3.雑誌名 韓日協力(韓国語) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-64 査読の有無
木宮正史 2 . 論文標題	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-64
************************************	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 2018冬季 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-64 査読の有無
木宮正史 2.論文標題 南北首脳会談から米朝首脳会談へ:東アジアの構造変容と日本外交の可能性 3.雑誌名 東亜 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 木宮正史 2.論文標題 韓日間の歴史和解はなぜ必要か:韓日間の戦略選択をめぐって(韓国語) 3.雑誌名 韓日協力(韓国語) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 20-27 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2018冬季 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 52-64 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
溢谷由里	復刊636
2.論文標題	5.発行年
中国の『本質』を考えるー 軍 と 政 、葛藤の歴史ー	2018年
│ 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
交詢雑誌	50-69
V 11-3 ME 100	00 00
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4.巻
森川裕二	21
<u> </u>	[-
0 40-1-407	= 7×/= -
2.論文標題	5.発行年
アジアにおける知のプラットフォーム	2019年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ワセダアジアレビュー	92-95
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
(A)	無
	CT Din 11 str
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	•
1 茧耂夕	4.巻
1.著者名	
森川裕二	5
497-11H-	
<i>የ</i> የተለ ነገዘ —	
2.論文標題	
2 . 論文標題	5.発行年
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す	5.発行年 2019年
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名	5.発行年
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す	5.発行年 2019年
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である) 1 . 著者名 鄭成	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鄭成 2 . 論文標題	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 鄭成	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 鄭成 2. 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 鄭成 2. 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 鄭成 2. 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化 3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 鄭成 2. 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 鄭成 2. 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化 3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鄭成 2 . 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化 3 . 雑誌名 ワセダアジアレビュー	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 82-86
2. 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3. 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1. 著者名 鄭成 2. 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化 3. 雑誌名	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鄭成 2 . 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化 3 . 雑誌名 ワセダアジアレビュー 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 国際共著 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 82-86 査読の有無
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鄭成 2 . 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化 3 . 雑誌名 ワセダアジアレビュー	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 82-86
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鄭成 2 . 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化 3 . 雑誌名 ワセダアジアレビュー 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 82-86
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鄭成 2 . 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化 3 . 雑誌名 ワセダアジアレビュー 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセス オープンアクセス	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 国際共著 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 82-86 査読の有無
2 . 論文標題 長崎からアジア、そしてグローバルな普遍性を目指す 3 . 雑誌名 多文化社会研究 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 鄭成 2 . 論文標題 知的交流をめぐる中国人留学生の意識構造の変化 3 . 雑誌名 ワセダアジアレビュー 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 255-303 査読の有無 国際共著 - 4 . 巻 21 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 82-86

1 . 著者名	4 . 巻
鄭成	36
2 . 論文標題	5 . 発行年
中ソ文化交流をめぐる中国の青年知識人の受容ー日記を手がかりに	2019年
3.雑誌名 アジア太平洋討究	6 . 最初と最後の頁 91-108
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
1 . 著者名	4 .巻
野口真広	20
2 . 論文標題 台湾地方自治連盟による 1933 年の朝鮮地方自治制度視察の意義 楊肇嘉の構想する台湾地方自治制度 の参照として	5 . 発行年 2018年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
日本台湾学会報	148-163
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名	4.巻
野口真広	21
2 . 論文標題	5 . 発行年
台湾留学生による政治・社会的なネットワーク形成に関する試論	2019年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
ワセダアジアレビュー	87-91
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
野口真広	10
2.論文標題	5 . 発行年
若者と東アジアの民主主義 : 危機と平和の可能性	2017年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
早稲田平和学研究	73-91
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1.著者名	4 . 巻
段瑞聡	創刊号
2 . 論文標題	5.発行年
台湾衛生医学における高木の役割	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
高木友枝:台湾衛生学の父	42-49
同小久は、口方剛工ナッス	72.73
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
段瑞聡	創刊号
P文· 伽·尼·	周リリラ
2.論文標題	5.発行年
高木の弟子・杜聡明	2018年
the control of the books of	
2 htt:	て 目知に目後で五
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
高木友枝:台湾衛生学の父	50-59
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
コープラックと人ではない。人間は、プラックと人が四葉	
	1 . "
1.著者名	4 . 巻
段瑞聡	創刊号
2 . 論文標題	5.発行年
高木と台湾電力会社	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
高木友枝:台湾衛生学の父	60-64
同小久仪・口/5周上ナック	00-04
Indiana	1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
	ロボハコ
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
段瑞聡	11
T A ~ 100 ~ 100	''
0 *A-LIE DI	F 75/- F-
2.論文標題	5.発行年
書評:張憲文、張玉法主編『中華民国専題史』(全18巻、南京大学出版社、2015年)	2018年
, — — — · · · · · · · · · · · · · · · ·	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
慶應義塾大学日吉紀要『中国研究』	15-28
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
' 4 U	***
· - · · - · · -	Control of the second of the s
オープンアクセス	国際共著
	国際共著
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

. ###	
1.著者名	4 . 巻
木宮正史	66
2.論文標題	5.発行年
文在寅政権が抱える安全保障と統一のジレンマ	2017年
│ 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
政策オピニオン	1-10
以来付 こーイン	1-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
	13
小吕正文	13
2 . 論文標題	5 . 発行年
北東アジア安保と朝鮮半島の統一そして日本:北朝鮮核危機を機会とした北東アジア平和構築に向かって	2017年
10パンフン < 外には1mm 上型ンWU このでは上上で10元10次に10次に10次に10次に10元ンフン 工作用表に同じでした。	2011
2 1844	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The 13th DMZ Peace Prize & DMZ World Peace Symposium	83-93
- '	
<u></u> 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	本芸の方無
	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
カーブンテッピス 	該当する
1 一 ノフドソフォビロカい Vロオー ノフドソコノメル休眠	
3 JOS CROBON ABS JOS JOS BAR	
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名	4 . 巻
1.著者名 劉傑	4.巻 53
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題	4.巻 53 5.発行年
1 . 著者名 劉傑	4.巻 53
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題	4.巻 53 5.発行年
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」	4.巻 53 5.発行年 2017年
 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」	4.巻 53 5.発行年 2017年
 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1.著者名 劉傑 2.論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3.雑誌名 軍事史学	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1
 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 考頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉傑	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 考頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉傑	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「北朝鮮危機と日米中関係の再構築」	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年
	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年
 著者名 劉傑 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 組誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセス 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「北朝鮮危機と日米中関係の再構築」 3 . 雑誌名 	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
 著者名 劉傑 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 湘誌名 軍事史学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-2
 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
 著者名 劉傑 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 湘誌名 軍事史学 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-2
 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-2
1 . 蓄者名 劉傑 2 . 論文標題 考頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 参頭言 「北朝鮮危機と日米中関係の再構築」 3 . 雑誌名 新国策 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-2 査読の有無
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 3 . 雑誌名 軍事史学 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「北朝鮮危機と日米中関係の再構築」 3 . 雑誌名 新国策 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-2
1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 巻頭言 「日中戦争史研究の新段階」 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 劉傑 2 . 論文標題 普頭言 「北朝鮮危機と日米中関係の再構築」 3 . 雑誌名 新国策 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)なし	4 . 巻 53 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 2017/5 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 1-2 査読の有無

1.著者名	. 111
	4 . 巻
Xiaohua Ma (馬暁華)	Vol.3, No.1
0 *A-LEDE	5 28/- F
2.論文標題	5.発行年
"Rethinking Peace-Building in East Asia: The Case of Japan's Struggle over History in Postwar	2017年
Era"	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
Contemporary Chinese Political Economy and Strategic Relations	181-212
· · ·	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Xiaohua Ma (馬暁華)	150
· /	
2 . 論文標題	5 . 発行年
- 『Museum Wars: Japan's Struggle over History and Identity in the Global Era"(査読有)	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Orientaliska Studier (Sweden)	42-57
orioniariona ordator (onodori)	72-01
 	査読の有無
なし	無
- 	777
t − プンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
コープンテン これではらい 人はコープンテン これが 四衆	<u> </u>
1.著者名	4.巻
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4巻
M/ITH—	75
2 . 論文標題	5 . 発行年
	2018年
「朝鮮半島から見た東アジアの日本の「平和」」	2010 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
),#Lino 1 <mark>1</mark>	0.取物に取物の貝
ᆙᄼᅕᄽᅺᄉᄺᅒ	475 400
『多文化社会研究』	475 ~ 492
『多文化社会研究』	475 ~ 492
曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無無無
 	査読の有無
『「最大のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
『載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 無 国際共著
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 無 国際共著 -
	査読の有無 無 国際共著
 最載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 森川祐二	査読の有無 無 国際共著
 最載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年
 最載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 森川祐二	査読の有無 無 国際共著
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 森川祐二 2 . 論文標題 北東アジアとトランプ後の国際秩序 - 実証・実在論の相補的視座から	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 森川祐二 2 . 論文標題 北東アジアとトランプ後の国際秩序 - 実証・実在論の相補的視座から 3 . 雑誌名	査読の有無 無 国際共著 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 森川祐二 2 . 論文標題 北東アジアとトランプ後の国際秩序 - 実証・実在論の相補的視座から	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 森川祐二 2 . 論文標題 北東アジアとトランプ後の国際秩序 - 実証・実在論の相補的視座から 3 . 雑誌名	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	重読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 15~22
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	重読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 15~22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 15~22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 1 5 . 発行年 2017年 6 . 最初と最後の頁 15~22

1 . 著者名 森川祐二	4.巻
2. 論文標題 東アジア共生的秩序とその方法	5.発行年 2017年
3.雑誌名 科学研究費新学術領域研究『和解に向けた歴史家共同研究ネットワークの検証』	6.最初と最後の頁 40~45
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1.著者名 鄭成	4.巻 第30号
2 . 論文標題 建国初期の科学研究者によるイデオロギー宣伝協力についての一考察」	5.発行年 2018年
3.雑誌名 早稲田大学アジア太平洋研究センター『アジア太平洋討究』	6.最初と最後の頁 225-235
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 鄭成	4 . 巻 第20号
2. 論文標題 中ソ友好・交流と中国人の対外意識への影響	5.発行年 2017年
3.雑誌名 総合学術誌『アリーナ』	6.最初と最後の頁 180-192
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
〔学会発表〕 計125件(うち招待講演 29件/うち国際学会 61件) 1.発表者名 鄭成	
2 . 発表標題 建国初期の青年党幹部の自己教育	

3.学会等名 「毛沢東時代の暴力とイデオロギー」ワークショップ、京都大学人文科学研究所共同研究班

4 . 発表年 2022年

1.発表者名
鄭成
2.発表標題
1950年代建国初期の知識人の思想的変容
1000千亿连国的别公和城入公总公司交合
NAME.
3. 学会等名
日本現代中国学会関東部会定例研究会
4.発表年
2022年
EVEL
4 7V = 12 47
1. 発表者名
鄭成
2.発表標題
中国建国初期の芸術家の思想統制への順応に関する一考察 映画人蔡楚生を中心に
1 日廷日の別の公司のの心心心が同じ、 2000年のに関する ラネーバロハネルエモ・アンド
2 24 6 00 7
3 . 学会等名
京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター「20世紀中国史の資料的復元」研究班
4.発表年
2021年
202. 1
1 双主业权
1. 発表者名
鄭成
2 . 発表標題
建国初期中国の社会主義プロパガンダ受容についての一考察 政治性と芸術性の狭間にある映画人
ZEIDM FEORESTAND / ZEICOVICO SA MARCONICO SALA
0 WARE
3.学会等名
アジア政経学会2021年度春季大会
4.発表年
2021年
4 7V=+V47
1. 発表者名
鄭成
2 . 発表標題
中ソ文化交流をめぐる中国の青年知識人の受容について
1 2 7 10 7 10 1 10 1 10 10 1 10 10 10 10 10 10 10
2 246
3 . 学会等名
2018年度アジア政経学会秋季大会
4 . 発表年
2018年

1.発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2 . 発表標題 Orientalism from Within: Representation of Southeast Asia in History Textbooks of Japan, China, and Thailand
N. A. Principal
3.学会等名 Global Asian Studies Joint Workshop, IASA, UTokyo X CoHASS, NTU Singapore
4 . 発表年 2023年
1 . 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2.発表標題
Z . 完改標題 The Changing Thai Perceptions of Japan: from Animosity to Popularity
3 . 学会等名 FY2021 Waseda Social Innovation Online Symposium
4 . 発表年
2022年
TVLL
1 . 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2 . 発表標題 小国のタイから見た中国 敬遠外交と両面外交の一考察
2 34
3 . 学会等名 北東アジア学会
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2 . 発表標題 米中和解に対するタイの対応
3.学会等名
歴史と和解学国際ワークショップ(国際学会)
4 . 発表年 2021年

1.発表者名
野口真広
2. 艾丰福昭
2.発表標題
台湾人民族運動家「楊肇嘉」のアーカイブから見た「立憲主義」
3.学会等名
第20回 日本台湾学会関西部会
4.発表年
2022年
1.発表者名
李恩民
2. 艾丰福昭
2 . 発表標題
How Difficult it is to the road of Sino-Japanese Historical Reconciliation!
3.学会等名
International Workshop "The Development of Reconciliation Studies in East Asia" (国際学会)
(23, 2)
4.発表年
2021年
1.発表者名
李恩民
O TV-F-LEGE
2.発表標題
Between Reconciliation and Justice: A Japanese-Style Model for the Settlement of Historical Issues
3.学会等名
the14th international Academic Conference and Symposium of the Society for Cultural Interaction in East Asia (国際学会)
4 . 発表年
2022年
1.発表者名
段瑞聡
2 . 発表標題
近年日本における日中戦争に関する研究(近年日本的中国抗戦史研究)」
3.学会等名
3. 子云寺石 「日本軍金山衛上陸と中国抗戦」国際シンポジウム(国際学会)
ロナチェロドトは「日かん」ログノングノング(日グナム)
4 . 発表年
2022年

1 . 発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題
中国の戦後講和構想から日中歴史認識問題の根源を探る
3 . 学会等名 「日中関係の歴史、現状と未来」日中国交正常化50周年記念学術シンポジウム(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題 日本における大韓民国臨時政府に関する研究について
3 . 学会等名 The Historical value of the Korean Provisional Government and The Pursuit of Its Historical Perspectives in the World" (韓国・ソウル) (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題 衆議院選挙からみる日中関係
3 . 学会等名 南開日本研究フォーラム「衆議院選挙後日本の政局と外交」学術シンポジウム(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名段瑞聡
2 . 発表標題 21世紀以来日本における日中戦争に関する研究について(新世紀以来日本有関中日戦争研究述評)
3.学会等名 21世紀以来日本における日中戦争に関する研究について(新世紀以来日本有関中日戦争研究述評)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2021年

1	. 発表者名
	木宮正史
7	
2	- 7. 光衣信題 - 韓国大統領選挙と韓国政治外交の展望、そして日韓関係
	韓国人航視選手と韓国政治が文切版主、そのとロ韓国版
3	. 学会等名
	世宗研究所日本研究センター主催『韓国大統領選挙と東アジア情勢』(招待講演)(国際学会)
4	発表年
	2022年
1	.発表者名
	木宮正史
_	マン主・1番目石
2	・発表標題 対象的、根本競争関係する口格学を持ちの可能性
	対称的・相互競争関係下の日韓学術協力の可能性
3	· . 学会等名
	日本学術会議地域研究委員会アジアの地域協力と学術ネットワーク構築分科会主催公開国際シンポジウム『戦後アジアの地域再編と学術の
	共同分断・協調・再分断を超えて』(国際学会)(国際学会)
4	発表年
	2021年
1	. 発表者名
	木宮正史
2	
	非対称な相互補完的関係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係:歴史問題にどのように取り組むべきか
3	。 3.学会等名
٠	・・テムサロ 東京大学韓国学研究センター韓日未来フォーラム共催 第9回日韓ジャーナリスト国際シンポジウム『米中葛藤と対北朝鮮政策、そして危
	機の日韓関係』(国際学会)(国際学会)
4	. 発表年
•	2021年
1	.発表者名
	木宮正史 (KIMIYA Tadashi)
2	発表標題
	The Structural Transformation of South Korea-Japan Relations amid the Intensification of the US-China Strategic Rivalries
2	。 3.学会等名
3	
	Ministry of Korean Unification, 2021 Korea Global Forum for Peace: New Vision for Inter-Korean Relations and Community for Peace, Economy and Life of the Korean Peninsula (招待講演) (国際学会) (招待講演) (国際学会)
Δ	- R表年
-	2021年

1.発表者名 木宮正史(KIMIYA Tadashi)
2 . 発表標題 South Korea-Japan Relations amid the US-China Strategic Rivalry and NK Nuclear Crisis
3 . 学会等名 韓国国立外交院日本研究センター主催『済州平和フォーラム 東アジアの持続可能な平和のための韓日関係再構築』(招待講演)(国際学 会)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 朝鮮半島情勢の行方と日韓関係
3.学会等名 平和政策研究所/UPF-Japan『Think Tank 2022 FORUM ILC特別懇談会 朝鮮半島と北東アジア情勢の展望』(国際学会)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1. 発表者名
木宮正史
木宮正史 2 . 発表標題 激化する米中対立・持続する北朝鮮核危機の中、非対称な相互補完的関係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係:我々を何を考え、どう対応するのか
2 . 発表標題 激化する米中対立・持続する北朝鮮核危機の中、非対称な相互補完的関係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係:我々を何を考
2.発表標題 激化する米中対立・持続する北朝鮮核危機の中、非対称な相互補完的関係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係:我々を何を考え、どう対応するのか 3.学会等名
 2.発表標題 激化する米中対立・持続する北朝鮮核危機の中、非対称な相互補完的関係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係:我々を何を考え、どう対応するのか 3.学会等名 駐新潟大韓民国総領事館主催・新潟日報社共催『韓日関係フォーラム あすの交流・連携を考える』(国際学会)(国際学会) 4.発表年
2 . 発表標題 激化する米中対立・持続する北朝鮮核危機の中、非対称な相互補完的関係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係:我々を何を考え、どう対応するのか 3 . 学会等名 駐新潟大韓民国総領事館主催・新潟日報社共催『韓日関係フォーラム あすの交流・連携を考える』(国際学会)(国際学会) 4 . 発表年 2021年
2 . 発表標題 激化する米中対立・持続する北朝鮮核危機の中、非対称な相互補完的関係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係: 我々を何を考え、どう対応するのか 3 . 学会等名 駐新潟大韓民国総領事館主催・新潟日報社共催『韓日関係フォーラム あすの交流・連携を考える』(国際学会)(国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 木宮正史 2 . 発表標題
2. 発表標題 激化する米中対立・持続する北朝鮮核危機の中、非対称な相互補完的関係から対称な相互競争関係へと変容する日韓関係:我々を何を考え、どう対応するのか 3. 学会等名 駐新潟大韓民国総領事館主催・新潟日報社共催『韓日関係フォーラム あすの交流・連携を考える』(国際学会)(国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 木宮正史 2. 発表標題 対称的・相互競争関係下のSNU/UTokyo学術協力の可能性 3. 学会等名

1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 日韓関係のダイナミズムと学術協力の限界・可能性
3.学会等名 日韓国際シンポジウム:2022年日韓新政権以来の日米韓協力方策と言・産・官・学の課題(招待講演)(国際学会)(招待講演)(国際学 会)
4 . 発表年 2022年
木宮正史
2.発表標題 対称相互競争的関係に変容する日本と韓国:北朝鮮核危機、米中対立、ロシアのウクライナ侵攻などの激動期国際関係にどのように対応するのか?(韓国語)
3 . 学会等名 韓国現代日本学会主催『国際情勢と韓日関係』(招待講演)(国際学会)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 木宮正史
2.発表標題 非対称的相互補完的関係から対称的相互競争的関係に変容する日韓関係:歴史問題、北朝鮮核危機、米中対立に対してどのように対応するべきか:『日韓関係史』をめぐって)(韓国語)
3 . 学会等名 韓国高麗大学アジア問題研究所主催研究会(招待講演)(国際学会(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 韓国の第20代大統領選挙、尹錫悦新政権と韓国外交、そして日韓関係
3.学会等名 東京フォーラム主催『第200回東京フォーラム記念大会』(招待講演)(国際学会)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2022年

1.発表者名 木宮正史
本名正文
2.発表標題
韓国新政権による対北朝鮮関係の今後の課題と展望
3.学会等名
3 · 子云守石 国際情勢研究所研究会(招待講演)(招待講演)
A ジキケ
4.発表年 2022年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題
対称的・相互競争的関係に変容する日韓:激動する国際関係にどのように対応するのか?
3.学会等名
横浜市立大学地域貢献センター・駐横浜大韓民国総領事館主催『日韓の課題解決に向けたシンポジウム「経済・政治外交・文化面における
日韓関係のあり方」』(招待講演)(招待講演) 4.発表年
2022年
1
1.発表者名 木宮正史
2. 発表標題
激動する国際政治の中での韓国・朝鮮半島の軌跡と展望:冷戦・分断下の体制劣勢・開発独裁から 体制優位・先進民主主義国へ
3.学会等名
九州大学韓国研究センター・九州韓国研究者フォーラム主催「『世界史』の中の韓国 その構造変動に関する総合的研究』(招待講演)
4.発表年
2023年
1.発表者名
前嶋和弘
2 . 発表標題
American Domestic Politics and U.SJapan Relations
3.学会等名
SMU Tower Center and its Sun & Star Program on Japan and East Asia. Southern Methodist University
4.発表年
2023年

1.発表者名 前嶋和弘
2 . 発表標題 日本におけるアメリカ研究の現在
3 . 学会等名 カルコン(日米文化教育交流会議)シンポジウム
4 . 発表年
2022年
1.発表者名
and
אזו ניש
2、
2.発表標題
近代中国の対外関係と東アジア
3.学会等名
・ タスマロー 防衛省防衛研究所
的倒自的倒听九州
4.発表年
2021年
20214
1.発表者名
9 年 - 光衣自有
到沃
2.発表標題
歴史認識と歴史和解
E 2004 - E 2 1001
3 . 学会等名
武漢大學日本與東亞講座系列・武漢大学日本研究センター
4 . 発表年
2021年
1. 発表者名
劉傑
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
2.発表標題
和解学に貢献する歴史学
3.学会等名
歴史と和解学ワークショップ・早稲田大学東アジア国際関係研究所
ルニス(TRIST) ノーファー 〒16日八丁木ノフノ 国際財産のアプログ
4.発表年
2021年
, 1

1.発表者名
鄭成
2.発表標題
建国初期の青年党幹部の自己教育
21,000
3.学会等名
3.チ云寺日 毛沢東時代の暴力とイデオロギー」ワークショップ、京都大学人文科学研究所共同研究班
毛沢東時代の暴力と1テオロキー」ワークショップ、京都人子人又科子研光所共同研光班
4. 発表年
2022年
1.発表者名
鄭成
2.発表標題
1950年代建国初期の知識人の思想的変容
3.学会等名
日本現代中国学会関東部会定例研究会
4 . 発表年
2022年
EVAL
1.発表者名
鄭成
2 . 発表標題
中国建国初期の芸術家の思想統制への順応に関する一考察 映画人蔡楚生を中心に
3 . 学会等名
京都大学人文科学研究所附属現代中国研究センター「20世紀中国史の資料的復元」研究班
4 . 発表年
2021年
1.発表者名
鄭成
6178
2.発表標題
建国初期中国の社会主義プロパガンダ受容についての一考察 政治性と芸術性の狭間にある映画人 」
- WARE
3 . 学会等名
アジア政経学会2021年度春季大会
4 . 発表年
2021年

1.発表者名
2.発表標題
中露和解と中国の歴史研究者
3.学会等名
「歴史と和解学」国際ワークショップ(国際学会)
4.発表年
2021年
1.発表者名
鄭成
2.発表標題
2 : 光衣標題 建国初期における青年知識人の社会主義への思想転向
3.学会等名
3. テムサロ 筑波大学科研基盤B「1950 年代、中国共産党権力の社会への浸透とその矛盾に関する共同研究」研究会
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
鄭成
2. 発表標題
中ソ友好時代の文化的遺産
3.学会等名
東京大学科研基盤C「中華圏におけるナショナリズムとリベラリズム:連関する大陸中国・台湾・香港」研究会
4.発表年
2020年
1 . 発表者名 鄭成
大//A
2.発表標題
・ 2 ・ 光衣信題 ・ 中露和解と中国の歴史研究者
3.学会等名
「歴史と和解学」国際ワークショップ
4 . 発表年 2020年~2021年
2V2V † 2V21 †

1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 北東アジア国際関係の変容と激化する日韓葛藤(韓国語)
3 . 学会等名 第1回サンド東北アジア国際フォーラム北東アジアパラダイムの変化と朝鮮半島の進路(招待講演)(国際学会)(招待講演)(国際学
会) 4.発表年
2020年
1 . 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2 . 発表標題 戦後タイにおける日本認識の変遷 1980 年代を中心に
我 友 ノ i に の I) る 日
3.学会等名
the 5th Asia Future Conference (第5回アジア未来会議)
4 . 発表年 2020年
1.発表者名
段瑞聡
2 . 発表標題 新時期日中協力の必要性と可能性について
3 . 学会等名 首都師範大学東アジア地域史学術シンポジウムおよび東アジア歴史研究センター成立大会
4 . 発表年 2020年
1. 発表者名
木宮正史
2.発表標題
北東アジア国際関係の変容と激化する日韓葛藤(韓国語)
3.学会等名 第1回サンド東北アジア国際フォーラム北東アジアパラダイムの変化と朝鮮半島の進路(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2020年
2020-

1.発表者名
木宮正史
2.発表標題
北東アジア国際関係の変容と高潮する日韓葛藤(韓国語)
3.学会等名
ソウル新聞平和研究所2019秋季セミナー 韓日関係と韓半島平和プロセス(招待講演)(国際学会)
2019年
1.発表者名
木宮正史
2.発表標題
北東アジア国際関係の変容と高潮する日韓葛藤(韓国語)
3 . 学会等名
韓国忠南大学主催東アジア国際秩序と韓半島:周辺国の観点(招待講演)(国際学会)
2019年
1.発表者名
木宮正史
2.発表標題
朝鮮半島情勢と日韓関係(韓国語)
2 24 4 44 4
3.学会等名 International Leadership Conference"Toward Peace and Security in Northeast Asia: Interdependence, Mutual Prosperity and
Universal Values(招待講演)(国際学会) 4.発表年
2019年
1.発表者名
木宮正史
2 及主 1
2 . 発表標題 中国をめぐる日韓関係
3.学会等名 Commemorative Seminar on The 20th Anniversary of China-Japan-Korea Trilateral Cooperation(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2019年

1.発表者名
木宮正史
2 . 発表標題
日韓関係の原状と展望
3 . 学会等名
朝鮮問題を考えるジャーナリスト懇話会主催「朝鮮問題勉強会」(招待講演)
4 . 発表年
2019年
1
1.発表者名 鄭成
X-1-W
2 . 発表標題
1950年代の中国における青年知識人の「平和的」転向について
3.学会等名
20世紀メディア研究会
4 . 発表年
2019年
1
1 . 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2.発表標題
福田ドクトリンとタイの知識人の反応
3 . 学会等名
第四回東アジア日本研究者協議会国際学術大会 次世代パネル:近現代日本外交と東アジアの知識人、台湾
4 . 発表年
2019年
1
1 . 発表者名 タンシンマンコン・パッタジット
2 . 発表標題
タイにおける華人同化政策と華人の位置づけの変遷
3.学会等名
ポストスハルト期におけるインドネシア華人の文化とアイデンティティ ネットワークの観点からの考察 第2回研究会、立教大学
4 . 発表年
2019年

1.発表者名
タンシンマンコン・パッタジット
2 . 発表標題 タノーム政権期におけるタイ中の相互認識と政策 「敵対」と「和解」の論理
3.学会等名
日本タイ学会2019年度研究大会、東京
4.発表年 2019年
1. 発表者名
- A A C T T T T T T T T T T T T T T T T T
2.発表標題
習近平時代の中国と日中関係ー「知のプラットフォーム」を目指して
3 . 学会等名 早稲田大学社会科学部稲門会(招待講演)
4.発表年
2018年
1 . 発表者名 劉傑
2.発表標題
日本外交官の中国認識と対中国政策
3.学会等名 台湾中国文化大学・one asia財団主催 全国大学生と大学院生研修塾(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名
劉 <i>傑</i>
2 . 発表標題 アジア通外交官芳澤謙吉のこと
3.学会等名
芳 <mark>澤謙吉記念館(招待講演)</mark>
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名
劉傑
2.発表標題
2 . 光衣標題 知のプラットフォームとしての現代日本学
AUDIO A ACO COMMON APP
3. 学会等名
新アジア学・日本学の創成 - 長崎からアジア、そしてグローバルは普遍性を目指す(国際学会)
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名
劉傑
٧٠ ات
2.発表標題
中国通外交官石射猪太郎をめぐる人びと
3.学会等名
龗山会創立70周年記念シンポジウム「人物からたどる近代日中関係史(招待講演)
, <u> </u>
4 . 発表年
2018年
1 . 発表者名
到傑
2-3 P/K
2.発表標題
日中歴史問題と和解学
3.学会等名
愛知大学国際中国学センター主催ワークショップ(招待講演)
4.発表年
2018年
1 . 発表者名
劉傑
איין ניישר
2.発表標題
日中歴史対話と和解学
3 . 学会等名
ICCS(愛知大学国際中国学センター)国際シンポジウム「新時代の日中対話の試みー現代中国学方法論の構築を求めて」(国際学会)
4 . 発表年
2018年

1 . 発表者名 劉傑
2 . 発表標題 中国の大国化と歴史観の変遷 歴史対話を手がかりに
3.学会等名 成均館大学成均中国研究所と早稲田大学現代中国研究所共同シンポジウム「習近平時代をどのように解釈するか」(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題 「中国改革開放40年と日中関係」
3 . 学会等名 " 改革開放史研究:回顧與展望 " 研討会(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題 『蒋介石日記』と民国史研究者ネットワークの検証
3.学会等名 国際シンポジウム「和解に向けての『新史学』(国際学会)
4.発表年 2019年
1.発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題 歴史研究のグローバル化と歴史教育の社会化ーー分断国家の視点を兼ねて
3.学会等名 第4回アジア未来会議「第3回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」パネルディスカッション「和解に向けた歴史家共同研究 ネットワークの検証(国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名
段瑞聡
2 . 発表標題
福田ドクトリンと日中関係ーー全方位平和外交理念の継承と発展
3.学会等名
う・チェッセ 「平和の実践」ワークショップ(国際学会)
4.発表年
2019年
1. 発表者名
段瑞聡
2.発表標題
中日歴史認識問題與中日関係
2
3.学会等名 北京大学人立護麻第100護(切待護家)
北京大学人文講座第190講(招待講演)
4.発表年
2019年
1.発表者名
段瑞聡
2.発表標題
フェルス保護 関於新時代中日関係的思考
MAN 2011- 31 A 1 MINIMERSON 2
- WARREN
3.学会等名
北京大学海外学者講座(招待講演)
4.発表年
2019年
1.発表者名
段瑞聡
2.発表標題
2. 充衣信題 関於日本平成時代的思考
All Sult 日本 T Man I Ma
3 . 学会等名
西南交通大学創源大講堂研究生学術講座第167講(招待講演)
4 . 発表年 2019年
2018 1

1 . 発表者名 前嶋和弘
2 . 発表標題 米朝首脳会談をめぐる東アジアの安全保障:トランプ政権の視点
3.学会等名 日本防衛学会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名前嶋和弘
2 . 発表標題 The Trump Revolution: Views from Japan
3 . 学会等名 21ST Annual Japan-EU Conference, Egmont Royal Institute for International Relations, Brussels(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 韓国における国家形成とその変容:脱植民地化をめぐる競争・「企業家的国家」による体制競争・ポスト競争下の「先進国化」
3 . 学会等名 The 4th Interium Meeting: Transnational Joint Research On the History of Asia in the 20th Century(国際学会)
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 東アジアにおける多層的パワー・シフトと朝鮮半島核危機:その「軟着陸」に向けて
3.学会等名 国際シンポジウム 「緊張と対話 東アジアの行方」(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名
木宮正史
2 . 発表標題 1970年代グローバル冷戦のデタント化と韓国外交:対共産圏外交と第3世界外交に焦点を当てて
3 . 学会等名 大韓民国外交史研究国際ワークショップ:韓半島冷戦史をめぐる韓日共同研究会(国際学会)
4.発表年 2018年
1.発表者名
木宮正史
2 . 発表標題 韓国における国家形成とその変容:脱植民地化をめぐる競争・「企業家的国家」による体制競争・ポスト競争下の「先進国化」
3. 学会等名
JIIA公開シンポジウム 20世紀アジアを振り返る一国際関係と国家建設の視点から一(国際学会)
4.発表年 2018年
1. 発表者名
木宮正史
2 . 発表標題
日韓における歴史和解と日韓協力の現状と展望
3 . 学会等名 第1回歴史和解のための日韓フォーラム(国際学会)
4.発表年
2018年
1.発表者名 木宮正史
小白ـL.文
2 及主播的
2 . 発表標題 文在寅政権の対北朝鮮和解協力政策と日韓関係:歴代政権との比較
3. 学会等名
金大中 小渕恵三共同宣言20周年と東アジア未来のビジョン(招待講演)(国際学会)
4.発表年 2018年

1. 発表者名
木宮正史
2.発表標題
2 : 光衣標題 和解学の困難さ:韓国の正義・日本の正義
川州ナツ四葉で・神田ツ正教
3 . 学会等名
第2回歴史和解のための日韓フォーラム(招待講演)(国際学会)(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
木宮正史
2. 双主価時
2.発表標題 カル (韓国語)
南北「統一民族主義」の競争(韓国語)
韓国国際政治学会3・1運動100周年記念特別学術大会(国際学会)
4.発表年
2019年
1.発表者名
木宮正史
2. 化主体环
2.発表標題
日韓関係をどう「科学」し、「実践」するのか
3.学会等名
第18回日韓アジア未来フォーラム 日韓関係の現在地と改善案(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2019年
1.発表者名
木宮正史
ᇰᇫᆇᆂᄺᄧ
2.発表標題
自著『ナショナリズムから見た韓国・北朝鮮近現代史』を語る
冷戦史研究会(招待講演)
4.発表年
2018年

1 . 発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 大学 (院)教育としてのアジア地域研究の意義と役割:日本学術会議における議論を中心にして
2
3 . 学会等名 アジア政経学会
4 . 発表年 2049年
2018年
1 . 発表者名 馬暁華(Xiaohua Ma)
2.発表標題
The Nordic Model for the Reconciliation in East Asia
3.学会等名
Shanghai Forum(国際学会)
2018年
1.発表者名 馬暁華
2.発表標題
大国の台頭:米中関係の歴史的回顧
3. 学会等名
米国外交伝統与中米関係的走向学術研討会(国際学会)
4.発表年
2018年
1 . 発表者名 馬暁華(Xiaohua Ma)
War Memory, History Education, and Reconciliation in a Global Era-Challenges and Prospects for the Sino-Japanese Relations
International Conference on Education and Social Sciences(国際学会)
4 . 発表年 2019年
•

1.発表者名
馬暁華(Xiaohua Ma)
고 작곡·두표표
2. 発表標題 History Teaching in the Global Era: Seeking Common Ground for Conflict-Solving
3.学会等名
The 2nd International Conference on Research in Social Studies and Humanities(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
馬暁華(Xiaohua Ma)
War Memory, History Education and Peace-Building in East Asia
3.学会等名 Asia-Pacific Conference on Education, Social Studies and Psychology(国際学会)
4 . 発表年 2019年
1.発表者名
鄭成
2.発表標題
日本への留学生と彼らのその後 中国・韓国・台湾の比較の観点から(日本の事例)
3.学会等名
日本国際文化学会
4.発表年 2018年
1.発表者名 鄭成
2 . 発表標題
中ソ文化交流をめぐる-中国の青年知識人の受容について」
3.学会等名
アジア政経学会
2018年

1.発表者名 野口真広
2 . 発表標題 日本への留学生と彼らのその後 中国・韓国・台湾の比較の観点から(台湾の事例)
3.学会等名 日本国際文化学会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 野口真広
2.発表標題 戦後直後における日本人の植民地記憶 植民地史像の再検討の一例として
3 . 学会等名 北東アジア学会
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 野口真広
2.発表標題 英国植民政策が日本に与えた知的影響の検証 エジャートンと永井柳太郎を通して
3.学会等名 台湾中央研究院台湾史研究所主催国際会議 Japanese Empire and Colonies: Population Flows and Cross-border III
4 . 発表年 2018年
1.発表者名 野口真広
2. 発表標題 The Yang Zhaojia's intellectual diversion for the Japanese Empire's constitutionalism:Rethinking Taiwanese constitutionalism origin's history
3 . 学会等名 台湾政治学会(国際学会)
4 . 発表年 2018年

1 - 東京和田 野口県	1.発表者名
2 . 発表権超 福民地台湾の自治 3 . 学会等名 高麗大学アジア問題研究所(投待講演) 4 . 発表年 2015年 1 . 発表者名 遠谷由里 3 . 学会等名 「海工祥と衛作費」「孫文大総統。権立構想をめぐって一 3 . 学会等名 「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4 . 発表者 2 . 発表者名 設堵総 2 . 発表者名 設堵総 2 . 発表者名 設堵総 4 . 発表年 21. 発表者名 設堵総 1 . 発表者名 設堵総 1 . 発表を 2 . 発表を 2 . 発表を 2017年 1 . 発表を 2	
福民地台湾の自治 3 . 学会等名 高麗大学アジア問題研究所(招待講演) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表有名 満谷由里 2 . 発表構題 湯玉祥と張作霖ー『孫文大総統』帰立構想をめぐってー 3 . 学会等名 「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 3 . 学会等名 南港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表権 自 : 2 . 発表権 自 : 2 . 発表権 1 : 2 . 発表権 1 : 2 . 発表権 1 : 2 . 発表を 1 : 2 . 発表を 3 . 子会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗穀爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表を	
福民地台湾の自治 3 . 学会等名 高麗大学アジア問題研究所(招待講演) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表有名 満谷由里 2 . 発表構題 湯玉祥と張作霖ー『孫文大総統』帰立構想をめぐってー 3 . 学会等名 「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 3 . 学会等名 南港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表権 自 : 2 . 発表権 自 : 2 . 発表権 1 : 2 . 発表権 1 : 2 . 発表権 1 : 2 . 発表を 1 : 2 . 発表を 3 . 子会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗穀爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表を	
福民地台湾の自治 3 . 学会等名 高麗大学アジア問題研究所(招待講演) 4 . 発表有名 語名由皇 2 . 発表標題 湯玉祥と張作霖ー『孫文大総統』帰立構想をめぐってー 3 . 学会等名 「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 3 . 学会等名 南港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 1 . 発表者名 段瑞聡 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表権題 1046年張群訪日之分析	
A 監大学アジア問題研究所(招待講演) 4 ・ 発表年 2019年 2019年 1 ・ 発表者名	
A 監大学アジア問題研究所(招待講演) 4 ・ 発表年 2019年 2019年 1 ・ 発表者名	
A 監大学アジア問題研究所(招待講演) 4 ・ 発表年 2019年 2019年 1 ・ 発表者名	
4. 発表者 2019年 1. 発表者名	
1. 発表者名 流谷由里 2. 殊表標題 湯玉祥と張作霖ー『孫文大総統』擁立構想をめぐって一 3. 学会等名 「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段球閣 1. 発表者名 段球閣 3. 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段類閣 2. 発表標題 1948年 2017年 1. 発表者名 段類閣 2. 発表標題 1948年 2017年 1. 発表者名 段類閣 2. 発表標題 1948年 2017年 1. 発表者名 段類閣 3. 学会等名 日報報 2. 発表標題 1948年張群訪日之分析	高麗大字アシア問題研究所(招待講演)
1 発表者名 流谷由里 2 発表標題	
温合田里 2. 発表標題	2019年
温合田里 2. 焼売標題 - 海玉祥と張作霖ー『孫文大総統。摘立橋想をめぐってー 3. 学会等名 - 2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4. 発表年 - 2017年 1. 発表者名 - 段瑞龍 3. 学会等名 - 資本中文大学中国文化研究所主催「民国人第下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4. 発表年 - 2017年 1. 発表者名 - 段瑞龍 - 1. 発表者名 - 段瑞龍 - 1. 発表者名 - 段瑞龍 - 2. 発表権器 - 1949年張群訪日之分析 3. 学会等名 - 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4. 発表年	1
2. 発表標題	
馮玉祥と張作霖ー『孫文大総統。頒立構想をめぐってー 3. 学会等名 「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聡 2. 発表標題 戦後制期国民政府対日講和構想 以3部和約草案為中心 3. 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聡 2. 発表標題 1948年張祥訪日之分析 3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4. 発表年	
馮玉祥と張作霖ー『孫文大総統』 頒立構想をめぐってー 3 . 学会等名 「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草業為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人華下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張祥訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	
馮玉祥と張作霖ー『孫文大総統』 頒立構想をめぐってー 3 . 学会等名 「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草業為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人華下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張祥訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	
「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聪 2. 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3. 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聪 2. 発表構題 1948年張群訪日之分析 3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会)	
「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聪 2. 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3. 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聪 2. 発表構題 1948年張群訪日之分析 3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会)	
「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聪 2. 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3. 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聪 2. 発表構題 1948年張群訪日之分析 3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会)	
4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聪 2 . 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聪 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会)	
2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会)	「2017年度東洋史研究会大会報告」、京都大学文学部
2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会)	□ 4.発表年
段瑞聡 2 . 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	
段瑞聡 2 . 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	1
2 . 発表標題 戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聪 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会)	
戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	주ス구매마까O
戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	
戦後初期国民政府対日講和構想 以 3 部和約草案為中心 3 . 学会等名 香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	
香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聡 2. 発表標題 1948年張群訪日之分析 3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4. 発表年	
香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聡 2. 発表標題 1948年張群訪日之分析 3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4. 発表年	
香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会) 4. 発表年 2017年 1. 発表者名 段瑞聡 2. 発表標題 1948年張群訪日之分析 3. 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4. 発表年	
4 . 発表年 2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	
2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	香港中文大学中国文化研究所主催「民国人筆下的民国」国際学術討論会、香港中文大学(国際学会)
2017年 1 . 発表者名 段瑞聡 2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析 3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4 . 発表年	」 4 .発表年
段瑞聡 2.発表標題 1948年張群訪日之分析 3.学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4.発表年	
段瑞聡 2.発表標題 1948年張群訪日之分析 3.学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4.発表年	1 英丰本々
2.発表標題 1948年張群訪日之分析 3.学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4.発表年	
1948年張群訪日之分析 3.学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4.発表年	1 A - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 - 114 -
1948年張群訪日之分析 3.学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4.発表年	
1948年張群訪日之分析 3.学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4.発表年	
中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4.発表年	
中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4.発表年	
中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会) 4.発表年	
	中国社会科学院近代史研究所主催「記念全面抗戦爆発八十周年国際学術研討会」、北京(国際学会)
	 4.発表年

1.発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題 日本学界関於 " 中日戦争 " 和 " 亜洲太平洋戦争 " 称呼之討論
2. 当A. \$P. \$P. \$P. \$P. \$P. \$P. \$P. \$P. \$P. \$P
3.学会等名 上海社会科学院歴史研究所、南開大学歴史学院主催「"日中戦争史研究新動向"国際シンポジウム」、上海社会科学院歴史研究所(国際 学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題 1948年張群訪日之分析
3.学会等名 中央研究院近代史研究所主催「和解への道:日中戦争の再検討」、台湾・中央研究院近代史研究所(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題 従 4 個 "主義"看民国史研究
3 . 学会等名 中国社会科学院近代史研究所主催「第四届中華民国史高峰論壇"全球史視野下的民国史研究"国際学術研討会」、北京(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 段瑞聡
2 . 発表標題 最近5年日本における日中戦争に関する研究状況(2013-2017)
3.学会等名 南開大学歴史学院主催「中国現代史研究第1回ワークショップ:抗戦時期的中国社会(1931-1945)」、南開大学(国際学会)
4.発表年 2018年

1	Π
1. 光衣有有	
★ ウェカ	
小呂正丈	

2 . 発表標題

韓国国家の形成と変容:脱植民地化・「企業家的国家」による競争・ポスト競争下の「先進国化」

3.学会等名

日本国際問題研究所主催「The 2nd Interium Meeting: Transnational Joint Research On the History of Asia in the 20th Century」、東京プリンスホテル(港区)

4.発表年

2017年

1.発表者名

木宮正史

2 . 発表標題

民主化と国際政治:韓国の民主化過程を事例として

3 . 学会等名

韓国政党学会・大韓民国歴史博物館主催「629民主化宣言30周年記念学術大会 629民主化宣言と韓国民主主義)」、韓国プレスセンター国際会議室(国際学会)

4 . 発表年

2017年

1.発表者名

木宮正史

2 . 発表標題

Advantages and Difficulties of Korean Studies in Japan, the University of Tokyo, and the Contents of Our Projects to overcome these Difficulties

3.学会等名

The Academy of Korean Studies Cosponsor, AKS Core University Program for Korean Studies Directors' Meeting、UNIVERSTAT TUBINGEN, (国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名

木宮正史

2 . 発表標題

日韓関係の「失われた19年」を振り返って:日韓パートナーシップ宣言とその後

3 . 学会等名

韓日未来フォーラム・延世大学金大中図書館・民主研究院主催 「金大中・小渕宣言19周年記念 韓日パートナーシップ宣言と未来志向的な日韓関係の構築」、韓国延世大学金大中図書館大会議室(国際学会)

4.発表年

2017年

1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 北東アジア安保と朝鮮半島統一、そして日本:北朝鮮核危機を機会に北東アジアの平和構築を(韓国語)
3.学会等名
DMZ学術院主管、江原道・江原日報共催、2017年DMZ平和国際シンポジウム『北東アジアの戦争と平和』、韓国インジェスピディアム (国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 韓国国家の形成と変容:脱植民地化・「企業家的国家」による競争・ポスト競争下の「先進国化」
3.学会等名
日本国際問題研究所主催、The 3rd Interium Meeting: Transnational Joint Research On the History of Asia in the 20th Century, 日本国際問題研究所大会議室
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 文在寅政権の展望:政治外交を中心に
3 . 学会等名 現代韓国朝鮮学会・慶應義塾大学現代韓国研究センター共催「文在寅政権の韓国を展望する」、慶應義塾大学南校舎455号 (港区)
4.発表年 2017年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 韓国文在寅政権の展望をめぐって
3.学会等名 北東アジア研究交流ネットワーク主催 第39回政策セミナー「2017年・世界とアジア、激動の年:北東アジア情勢分析」、大阪経済法科大学東京麻布台セミナーハウス 2 F大研修室(港区) 4.発表年
4.笼衣牛 2017年

1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 米中国益第一主義の狭間の朝鮮半島:韓国政治の不確実性と北朝鮮政治の硬直性
3.学会等名 アジア政経学会2017年研究大会 共通論題「2017:不確実性の時代のアジアと世界」、一橋大学(国立市)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 韓国文在寅政権と朝鮮半島をめぐる国際政治
3.学会等名 平和政策研究所主催「有識者マスコミ懇談会」、アルカディア市ヶ谷(千代田区)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 木宮正史
2 . 発表標題 韓国文在寅政権の登場と朝鮮半島をめぐる国際政治の展開
3 . 学会等名 日本アカデメイア主催「日本アカデメイア勉強会」、ホテルオークラ別館2階メイプル、講演と質疑応答
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 劉傑
2 . 発表標題 中日關係史中的親日派與親華派兼談日本外交文書中的汪精衛
3.学会等名中央研究院近代史研究所(国際学会)
4 . 発表年 2017年

1.発表者名
劉傑
2 . 発表標題
日中関係史のなかの「汪兆銘研究」
3.学会等名
台湾中央研究院主催国際シンポジウム「和解への道、日中戦争の再検討」(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名 劉傑
2.発表標題
留学と歴史認識
3.学会等名
立命館大学主催国際シンポジウム「歴史の越え方 『怨讐の彼方』を目指して 」(国際学会)
4.発表年
2018年
1.発表者名
1.光衣有右 Xiaohua Ma
Aradhaa ma
2.発表標題
History Controversy and Reconciliation in Sino-Japanese Relations
3 . 学会等名
The Fifth International Conference of Asian Studies,Rikkyo University, Tokyo(国際学会)
4.発表年
2017年
1.発表者名
Xiaohua Ma
2 び主体内
2.発表標題
War Memory, History Education and Reconciliation in East Asia
3 . 学会等名
War and Peace-Building in East Asia Seminar,The University of Hong Kong(国際学会)
4.発表年 2017年
2017年

1.発表者名
森川祐二
2 . 発表標題
東アジア共生秩序とその方法 」(シンポジスト)
3. 学会等名
シンポジウム「和解のための現代日本学」 、早稲田大学
4.発表年
2017年
1 . 発表者名
森川祐二
WALLEY HE
2.発表標題
East Asian Regional Order in the light of IR Theoretical Models: Mapping the Past, Explaining the Present, and Modeling the
Future(招待講演)
· «-«-«/1911 - 1911-1911-1911-1911-1911-1911-19
3.学会等名
East Asia Studies Workshop at Shefield University
Last Asia Studies workshop at Sherreru dinversity
4 . 発表年
2017年
2017+
1
1. 発表者名
森川祐二
2
2.発表標題
北東アジアとトランプ後の国際秩序 - 実証・実在論の相補的視座から
2 24 4 77 77
3 . 学会等名
北東アジア学会第23回研究大会
4.発表年
2017年
1.発表者名
鄭成
2 . 発表標題
"The Soviet Union's Influence on China's public Perception of other Nations" (招待講演)
3.学会等名
"Russia's Relations with Northeast Asia" (Institute of Contemporary Asia Studies, Temple University, Japan Campus)
,
4.発表年
2017年

〔図書〕 計35件 1.著者名	4.発行年
森川裕二	2022年
2. 出版社	5.総ページ数
東方出版中心	243
3 . 書名 大夏世界史研究:日本工作站文集	
1 . 著者名 段瑞聡	4 . 発行年 2019年
2. 出版社 三和書籍	5.総ページ数 411
3.書名	
自分がされたくないことは人にもしない: グローバル公共倫理	
1 . 著者名	4 . 発行年
森川裕二	2019年
2. 出版社	5.総ページ数 336
昭和堂	330
3.書名 周縁 からの平和学: アジアを見る新たな視座	
	7V./~ te
1.著者名 鄭成	4.発行年 2020年
2.出版社 古今書院	5 . 総ページ数 146

3 . 書名 スターリンの極東政策 公文書資料による東北アジア史再考

1.著者名 夏瑛、陳昭編	4 . 発行年 2018年
	2010 '
	5.総ページ数
新世界出版社	279
3 . 書名	
寮生 後楽寮を生きる人々	
]
1 . 著者名	4 . 発行年
段瑞聡	2018年
	5.総ページ数
香港城市大学出版社	432
3 . 書名	
『中国与世界之多元歴史探論』	
	1
1 . 著者名	4 . 発行年
段瑞聡	2018年
2.出版社	5.総ページ数
社会科学文献出版社	461
3 . 書名	
再認識與再評価:二戦中的中国與亜洲民族独立運動	
1.著者名 段瑞聡 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	4 . 発行年 2018年
F又4向9心	2010 年
	5.総ページ数
晃洋書房	306
3 . 書名	
新版 5分野から読み解く現代中国	
	J

	T
1 . 著者名 段瑞聡	4 . 発行年 2018年
ヤメ・川川・地心	2010-
2.出版社	5.総ページ数
稲郷出版社、台湾	534
3 . 書名	
中日戦争和東亜変局』下 	
1 . 著者名 金大中 小渕共同宣言記念行事委員会	4 . 発行年 2018年
·····································	2010-
2.出版社	5.総ページ数
ツリーポブ	347
3 . 書名	
金大中 小渕恵三共同宣言20周年と東アジア未来ビジョン(韓国語)	
1.著者名 李鍾元・木宮正史	4 . 発行年 2018年
,	2010-
2 . 出版社	5.総ページ数
岩波書店	168
3.書名 朝鮮半島 危機から対話へ:変動する東アジアの地政図	
勃鮮十寅 心機がら刈品へ、を動する泉アンアの地図区 	
4 节业权	- 4 交/二左
1.著者名 Victor Teo, Sungwon Yoon, and Xiaohua Ma	4 . 発行年 2019年
2 . 出版社	5.総ページ数
Rout ledge	184
3.書名 Illicit Industries and China's Shadow Economy: Challenges and Prospects for Global Governance	
and Human Security	

1.著者名	4.発行年
澁谷由里	2018年
2. 出版社	5 . 総ページ数
光現出版(台湾)	279
ACAMBING (174)	
3.書名	
3. = 1	
	_

1.著者名	4 . 発行年
鄭成	2018年
2.出版社	5.総ページ数
勉誠出版	252
3 . 書名	
○・□ 1 満洲の戦後 継承・再生・新生の地域史	
/回川V2元以 ルビス 行工 列工V20/00文	
1 524	4 整仁左
1 . 著者名	4.発行年
1 . 著者名 鄭成	4 . 発行年 2018年
鄭成	2018年
鄭成 2.出版社	2018年 5 . 総ページ数
鄭成	2018年
鄭成 2 . 出版社	2018年 5 . 総ページ数
製成 2.出版社 中国研究所	2018年 5 . 総ページ数
鄭成2.出版社 中国研究所3.書名	2018年 5 . 総ページ数
製成 2.出版社 中国研究所	2018年 5 . 総ページ数
鄭成2.出版社 中国研究所3.書名	2018年 5 . 総ページ数
鄭成2.出版社 中国研究所3.書名 中国年鑑2018	2018年 5.総ページ数 501
鄭成2.出版社中国研究所3.書名中国年鑑2018	2018年 5.総ページ数 501
 鄭成 2.出版社 中国研究所 3.書名 中国年鑑2018 	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年
鄭成2.出版社 中国研究所3.書名 中国年鑑2018	2018年 5.総ページ数 501
 鄭成 2.出版社中国研究所 3.書名中国年鑑2018 	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年
 鄭成 2.出版社中国研究所 3.書名中国年鑑2018 	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年
 鄭成 2.出版社中国研究所 3.書名中国年鑑2018 1.著者名野口真広	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年
 鄭成 2.出版社中国研究所 3.書名中国年鑑2018 1.著者名野口真広 2.出版社 	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年 5.総ページ数
 鄭成 2.出版社中国研究所 3.書名中国年鑑2018 1.著者名野口真広	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年
 鄭成 2.出版社中国研究所 3.書名中国年鑑2018 1.著者名野口真広 2.出版社 	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年 5.総ページ数
	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年 5.総ページ数
望	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年 5.総ページ数
	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年
望	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年
望	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年
望	2018年 5.総ページ数 501 4.発行年 2017年

1 . 著者名	4 . 発行年
溢谷 由里	2017年
	5.総ページ数
講談社	272
2 #4	
3 . 書名	
馬賊の「満洲」 張作霖と近代中国	
1 . 著者名	4 . 発行年
段瑞聡	2017年
	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	416
2 70	
3. 書名	
共著:黄自進、劉建輝、戸部良一編著『 日中戦争 とは何だったのか』第11章「戦後初期国民政府の対 日講和構想:対日講和条約審議委員会を中心に」	
口岬イҸ構ぶ・刈口岬仰ホ削館成女具なで下心に」	
1.著者名	4.発行年
段瑞聡	2017年
	1
2.出版社	5.総ページ数
2. 出版社 芦書房	5.総ページ数 ²³⁶
芦書房	
芦書房 3.書名	
芦書房	
芦書房 3.書名	
芦書房 3.書名	
芦書房 3.書名	
芦書房 3.書名 共著:青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」	236
芦書房 3.書名	236
芦書房 3.書名 共著:青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」	236
芦書房 3.書名	236
芦書房 3.書名	236
芦書房 3 . 書名 共著: 青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」 1 . 著者名 木宮 正史 2 . 出版社	236
芦書房 3.書名 共著:青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」 1.著者名 木宮 正史	4.発行年 2018年
芦書房 3 . 書名 共著: 青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」 1 . 著者名 木宮 正史 2 . 出版社	4 . 発行年 2018年 5 . 総ページ数
芦書房 3.書名	4 . 発行年 2018年 5 . 総ページ数
芦書房 3.書名 共著:青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」 1.著者名 木宮 正史 2.出版社 講談社 3.書名	4 . 発行年 2018年 5 . 総ページ数
芦書房 3.書名	4 . 発行年 2018年 5 . 総ページ数
芦書房 3.書名 共著:青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」 1.著者名 木宮 正史 2.出版社 講談社 3.書名	4 . 発行年 2018年 5 . 総ページ数
芦書房 3.書名 共著:青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」 1.著者名 木宮 正史 2.出版社 講談社 3.書名	4 . 発行年 2018年 5 . 総ページ数
芦書房 3.書名 共著:青木一能編『グローバル化のなかの日本再考』第9章「冷却した日中関係の和解をめざして」 1.著者名 木宮 正史 2.出版社 講談社 3.書名	4 . 発行年 2018年 5 . 総ページ数

1 . 著者名 木宮正史	4 . 発行年 2017年
2. 出版社 新潮社	5 . 総ページ数 828
3.書名 翻訳:金鍾泌著・中央日報社編 木宮正史監訳・若杉美奈子・小池修訳『金鍾泌証言録』	
1.著者名 木宮正史	4 . 発行年 2017年
2.出版社 山川出版社	5 . 総ページ数 648
3.書名 共著:李成市・宮嶋博史・糟谷憲一編『世界歴史大系 朝鮮史 2 近現代』「第3章 南北分断体制下の 独裁と民主化の挫折」「第4章 開発独裁による南北体制競争への対応」「第5章 民主化と脱冷戦への対 応」「参考文献第3章第4章第5章解説」など	
	. 70/= -
1.著者名 木宮正史	4 . 発行年 2017年
2.出版社 ブルンギル	5 . 総ページ数 ⁴¹⁶
3.書名 共著:姜元澤編、『6・29宣言と韓国民主主義:民主化30年、韓国民主主義の進展と盧泰愚政府時期の再照明)』(第11章 韓国民主化と国際政治)」	
1 . 著者名 劉傑	4 . 発行年 2017年
2.出版社 台湾広場文化	5 . 総ページ数 ²⁵²
3.書名中國的強國構想:從甲午戰爭至今天	

	,
1.著者名	4.発行年
劉傑	2017年
2.出版社	5.総ページ数
ミネルヴァ書房	416
3 . 書名	
- 『 日中戦争 とは何だったのか』「第3章 石射猪太郎と日中戦争」	
The common state of the state o	
	J
1.著者名	4.発行年
	2017年
到除	2017年
2 山屿5社	L 4/\rangle \cdot
2. 出版社	5.総ページ数
福鄉出版社	824
2 74	
3 . 書名	
『近代中日関係史新論』「中日戦争前的関係改善與「中国通」外交官」	
1.著者名	4.発行年
馬暁華	2017年
	1
2.出版社	5.総ページ数
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5 . 総ページ数 416
2 . 出版社 ミネルヴァ書房	
ミネルヴァ書房	
ミネルヴァ書房 3.書名	
ミネルヴァ書房	
ミネルヴァ書房 3.書名	
ミネルヴァ書房 3 . 書名	
ミネルヴァ書房 3.書名	
ミネルヴァ書房 3.書名	
ミネルヴァ書房 3.書名 『〈日中戦争〉とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争	416
3.書名 『〈日中戦争〉とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名	416
ミネルヴァ書房 3.書名 『〈日中戦争〉とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争	416
ミネルヴァ書房 3.書名 『 < 日中戦争 > とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名	416
ミネルヴァ書房 3.書名 『 < 日中戦争 > とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名	416
ミネルヴァ書房 3.書名 『〈日中戦争〉とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma)	416 4.発行年 2018年
ミネルヴァ書房 3.書名 『〈日中戦争〉とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma) 2.出版社	4. 発行年 2018年 5. 総ページ数
3.書名 『 < 日中戦争 > とは何だっかのか: 複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma)	416 4.発行年 2018年
ミネルヴァ書房 3.書名 『〈日中戦争〉とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma) 2.出版社	4. 発行年 2018年 5. 総ページ数
3.書名 『〈日中戦争〉とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma) 2.出版社 学術研究出版	4. 発行年 2018年 5. 総ページ数
ミネルヴァ書房 3.書名 『 < 日中戦争 > とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma) 2.出版社 学術研究出版 3.書名	4. 発行年 2018年 5. 総ページ数
3.書名 『〈日中戦争〉とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma) 2.出版社 学術研究出版	4. 発行年 2018年 5. 総ページ数
ミネルヴァ書房 3.書名 『 < 日中戦争 > とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma) 2.出版社 学術研究出版 3.書名	4. 発行年 2018年 5. 総ページ数
ミネルヴァ書房 3.書名 『<日中戦争>とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma) 2.出版社 学術研究出版 3.書名	4. 発行年 2018年 5. 総ページ数
ミネルヴァ書房 3.書名 『 < 日中戦争 > とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma) 2.出版社 学術研究出版 3.書名	416 4.発行年 2018年 5.総ページ数
ミネルヴァ書房 3.書名 『 < 日中戦争 > とは何だっかのか:複眼的視点』」第8章 「グローバル・ヒストリーのなかの日中戦争 1.著者名 馬暁華 (Xiaohua Ma) 2.出版社 学術研究出版 3.書名	4. 発行年 2018年 5. 総ページ数

1 . 著者名 劉傑	4 . 発行年 2022年
2.出版社 明石書店	5.総ページ数 381
변기나 된 III	
3 . 書名	
和解のための新たな歴史学ー方法と構想	
1.著者名 劉傑	4 . 発行年 2021年
2 . 出版社 明石書店	5.総ページ数 354
MU II	
3 . 書名	
和解学の試み一記憶・感情・価値 第2章 和解学に貢献する新たな歴史学を目指して	
4 ***	J
1.著者名 劉傑	4 . 発行年 2021年
2 . 出版社 早稲田大学出版部	5.総ページ数 394
I IN COLUMN TO THE PARTY OF THE	
3 . 書名	
New Perspectives on International Studies in Asia-Pacific Chapter1 The History Problem and Sino-Japanese Relations in the Context of the Rise of China	
The sapares notations in the context of the most of offine	
1.著者名	4 . 発行年
1 · 百百石 劉傑	2022年
2 ШИСЭД	F 4分へ こご米セ
2.出版社 東京大学出版会	5 . 総ページ数 231
3 . 書名	
超大国中国のゆくえ 文明観と歴史認識 第3章・第4章・終章 	

1 . 著者名	4.発行年
劉傑	2020年
2 . 出版社	5.総ページ数
吉川弘文館	3 . Mic ハー フ 女 X 245
3 . 書名	
人とことば	
1 . 著者名 劉傑	4 . 発行年 2019年
並」 休	2019-
2 . 出版社	5.総ページ数
国書刊行会	308
3 . 書名 人物からたどる近代日中関係史 第3部 日中関係における中国通外交官	
X100 3100 0 2101 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
1.著者名	4.発行年
劉傑	2021年
2.出版社	こ 4/2 40 ごう米片
五南図書出版	5.総ページ数 475
3 . 書名	
中日国力消長與東亜秩序重構 第15章 中國崛起下的歷史問題與中日關係	
	I
〔産業財産権〕	
〔その他〕	
和解学の創成 正義ある和解を求めて http://www.prj-wakai.com/	

6 . 研究組織

(20386668)	6	. 研究組織		,
日本語		(ローマ字氏名) (研究者番号)	(機関番号)	備考
(03317083) (32612) (32612) (32621) 上粒大学・総合グロー/ベル学部・教授 (Vaeshina Kazuhira) (Vaeshina		段瑞聡	慶應義塾大学・商学部(日吉)・教授	
計略 和弘 上哲人学・総合グローバル字部・教授 10356728)	研究分担者	(Duan Ruicong)		
研究分類 (idaeshina Kazuhiro) (i		(00317083)		
(10350729)		前嶋 和弘	上智大学・総合グローバル学部・教授	
カンシンマンコン パッタジット 東京大学・東洋文化研究所・講師 (Tangsinmunkong Pattajit) (Tangsinmunkong Pa	研究分担者			
(Tangsinmunkong Pattajit) (Tangsinmunkong				
(10844136)		タンシンマンコン パッタジット	東京大学・東洋文化研究所・講師	
Image: Bis	研究分担者	(Tangsinmunkong Pattajit)		
Image: Bis		(10844136)	(12601)	
(Zheng Cheng)				
木宮 正史 東京大学・大学院総合文化研究科・教授 (Kimiya Tadashi)	研究分担			
木宮 正史 東京大学・大学院総合文化研究科・教授 (Kimiya Tadashi)		(20386668)	(24506)	
(Kimiya Tadashi)			東京大学・大学院総合文化研究科・教授	
馬 暁華 大阪教育大学・教育学部・准教授 (Ma Xiaohua) (30304075) (14403) 野口 真広 早稲田大学・地域・地域間研究機構・その他(招聘研究員) 研究 分 担君 (Noguchi Masahiro) (30386560) (32689)	究	(Kimiya Tadashi)		
馬 暁華 大阪教育大学・教育学部・准教授 (Ma Xiaohua) (30304075) (14403) 野口 真広 早稲田大学・地域・地域間研究機構・その他(招聘研究員) 研究 分 担君 (Noguchi Masahiro) (30386560) (32689)		(30221922)	(12601)	
研究 分担		,		
野口 真広 早稲田大学・地域・地域間研究機構・その他(招聘研究員) 研究分別者 (Noguchi Masahiro) (30386560) (32689) 遊谷 由里 帝京大学・文学部・教授 研究分別担者 (Sibudani Yuri)	研究分担者	(Ma Xiaohua)		
研究分担者 (Noguchi Masahiro) (30386560) (32689) (3i分 由里 帝京大学・文学部・教授 (Sibudani Yuri)	L			
者 (30386560) (32689) 遊谷 由里 帝京大学・文学部・教授 研究分担者 (Sibudani Yuri)			早稲田大学・地域・地域間研究機構・その他(招聘研究員)	
遊谷 由里 帝京大学・文学部・教授 研究 分 (Sibudani Yuri) 担 者	研究分担者	(Noguchi Masahiro)		
遊谷 由里 帝京大学・文学部・教授 研究 分 (Sibudani Yuri) 担 者			(32689)	
者				
(80283050) (32643)	研究分担者	(Sibudani Yuri)		
V/		(80283050)	(32643)	

6.研究組織(つづき)

	・ M 元 元 元 成名	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	李 恩民	 桜美林大学・グローパル・コミュニケーション学群・教授	
研究分担者	(Li Enmin)		
	(90372911)	(32605)	
	森川 裕二	長崎大学・多文化社会学部・教授	
研究分担者	(Morikawa Yuji)		
	(90440221)	(17301)	
	城山 英巳	北海道大学・メディア・コミュニケーション研究院・教授	
研究分担者	(Shiroyama Hidemi)		
	(60897693)	(10101)	

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

[国際研究集会] 計9件

国際研究集会	開催年
和解に向けての『新史学』	2018年~2019年
1日間 1011 100 例文子書	2010+ 2010+
国際研究集会	開催年
1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	
歴史学と和解学のあいだ	2022年~2022年
国際研究集会	開催年
日中関係50年:その歴史と研究を考える	2022年~2022年
国際研究集会	開催年
第7回日本・中国・韓国国史たちの対話『歴史大衆化と東アジアの歴史学』	2022年~2022年
国際研究集会	開催年
東アジア近代文明の再検討	2021年~2022年
来アクテ西代文明の存代的	20214 ~ 20224
同數理內住人	181次左
国際研究集会	開催年
歴史と和解学	2020年~2021年
国際研究集会	開催年
東アジアにおける戦時動員の位相 その衝撃と遺産	2019年~2020年
国際研究集会	開催年
新時代の日中関係	2019年~2020年
国際研究集会	開催年
和解に向けての新史学	2018年~2019年
THIRTIES IN COMIC	2010 2010

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------